

講義科目名称： 心理学

授業コード： 2R001

英文科目名称： Psychology

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
鎌田 依里			

授業形態	講義（14コマ）、演習（1コマ）。講義中、随時10分程度の小演習（個別・グループ）も取り入れる。		担当者
授業計画	第1回	<p>心理学の歴史と方法 本講義のテーマ、講義の展開予定、受講上の注意などについて説明をする。また、心理学の歴史と研究方法について学び、本講義の到達目標について展望する。 key words：哲学における心理学、実験心理学の始まり（ヴェント）、ヴェント批判（ゲシュタルト心理学、行動主義、精神分析）</p>	鎌田依里
	第2回	<p>脳と心理学 脳科学と心理学は密接な関係にある。本講義では、心の働きの基盤となる脳と神経の基礎的な仕組みと働きについて学習する。 key words：人間の脳の構造、脳の働き、高次脳機能障害</p>	鎌田依里
	第3回	<p>心の発達 年齢によって人間の一生を大まかに分け、それぞれの区分における特徴や変化に焦点を当てて、これらの方向性や順序性を明らかにしていく心理学の分野は「発達心理学」とよばれている。本講義では人間の発達の諸側面、子どもの認知発達について学ぶ。 key words：こどもの認知発達（ピアジェ）、こどもの社会性の発達、生涯発達心理学</p>	鎌田依里
	第4回	<p>発達障害 平成19年度から全国で特別支援教育が開始され、ここ数年の間に発達障害に関する知識が急速に広まっている。本講義では代表的な発達障害あるAD/HD、SLD、自閉スペクトラム症の特徴について学び、支援の方法について理解を深める。 key words：発達障害、AD/HD、SLD、自閉スペクトラム症、太田ステージ理論、特別支援教育</p>	鎌田依里
	第5回	<p>感覚と知覚 人間が外界に適応した行動をとるためには、外界を理解する必要がある。本講義では、我々が外界の情報を受容し、それを利用する手段である感覚と知覚について学ぶ。 key words：感覚、知覚的な体制化、奥行き知覚と知覚の恒常性、錯覚、運動の知覚</p>	鎌田依里
	第6回	<p>学習 一般に学習というと、学校における教科学習を想像するが、心理学において学習とは「経験によって生ずる行動の変容」と定義される。本講義では、行動主義が提唱した学習原理と、社会的学習理論を概観する。 key words：古典的（レスポナント）条件づけ（パブロフ）、オペラント条件づけ（スキナー）、社会的学習理論（バンデューラ）</p>	鎌田依里
	第7回	<p>記憶と思考 感覚・知覚によって入力されてきた情報は、私たちが環境に適応するために使用される。そのためには、情報を効率的に貯蔵し、この使用の方法についての戦略が必要になる。心理学では前者の課程を「記憶」と呼び、後者の課程を「思考」とよぶ。本講義では、人間の記憶と思考の仕組みについて学習する。 key words：記憶のしくみ、記憶の二重貯蔵モデル、問題解決と意思決定、推論</p>	鎌田依里
	第8回	<p>動機づけと情動 人の行動は多様であるが、それぞれの行動には、その行動と結びついた特定の原因があると考えられる。例えば、Aさんが勉強を中断して夜食を食べたのは「空腹だったから」であろうし、また、恋人と別れてBさんが泣いたのは「悲しかったから」であろう。行動の原因と考えられるもののうち、前者のグループは「動機づけ」とよばれ、後者のグループは「情動」とよばれる。本講義では、人間の動機づけと情動について理解を深める。 key words：動機づけと欲求、マズローの欲求階層モデル、感情・情動、表出行動とコミュニケーション、動機づけと情動の病理</p>	鎌田依里

	第9回	<p>性格</p> <p>私たちはそれぞれ、他の人とは違うその人らしい考え方、感じ方、そして行動の仕方（行動様式）を持っている。このような考え方や行動の仕方は、状況の変化にも関わらず、時や場所を越えて、比較的一貫し、安定している。このことから、私たちに、このような個人の独自性と統一性をもたらすものが存在すると考えられ、それは「性格」とよばれる。本講義では性格の代表的な理論である「類型論」と「特性論」や性格の5因子モデルについて学ぶ。講義の後半では、臨床の現場で用いられる性格検査を体験する。</p> <p>key words：類型論，特性論，性格の5因子モデル，性格検査の信頼性と妥当性</p>	鎌田依里
	第10回	<p>対人関係と集団</p> <p>人は生きていく中で、様々な他者と出会い、交流しながら関係を築いていく。人間は本質的に一人では生きていくことのできない存在だからである。しかし、他者とともにあることは、人生を豊かにする半面、様々な苦悩の源泉ともなる。本講義では、私たちが他者をどのようにとらえ、関わっているか、他者からどのような影響を受けているかを学習する。</p> <p>key words：対人認知，対人感情，関係の維持</p>	鎌田依里
	第11回	<p>臨床心理学（1） 精神分析</p> <p>精神分析とは、オーストリアの神経学者フロイトによって創始された人間の心を研究する方法であり、理論であり、精神疾患や不適応の治療法である。本講義では、心理療法としての精神分析を中心に、その基本概念について学習する。</p> <p>key words：意識，前意識，無意識，エス（イド），自我，超自我，エディプス・コンプレックス</p>	鎌田依里
	第12回	<p>臨床心理学（2） 分析心理学</p> <p>分析心理学はスイスの精神医学者カール・グスタフ・ユングによって創始された心理学・心理療法であり、一般にユング心理学として知られている。ユングは当初フロイトから強い影響を受けたが、その理論の違いからフロイトと決別することになる。本講義では、フロイトの理論との比較を通してユングの理論について理解を深める。</p> <p>key words：個人的無意識，普遍的無意識，元型，症状の持つ意味，夢分析</p>	鎌田依里
	第13回	<p>臨床心理学（3） クライアント中心療法</p> <p>カール・ロジャースは20世紀アメリカを代表する心理学者の1人である。ロジャースは人間の本質を善ととらえる人間観に基づき、人間の成長力、主体性を重視し、心理療法を「クライアント中心」に進めていくという大きな変革をもたらした。本講義ではロジャースの生涯をたどり、その理論の変遷について理解する。</p> <p>key words：クライアント中心療法，パーソン・センタード，静かなる革命，受容，共感，自己一致，建設的なパーソナリティ変化が生じるための必要かつ十分な条件</p>	鎌田依里
	第14回	<p>心理療法（1） 「コラージュ療法」演習</p> <p>心理療法とは、「心の問題」に対する心理学の知見を用いた援助である。本講義では、心理療法の中でも「芸術療法」と呼ばれるものの1つである「コラージュ療法」を体験する。</p> <p>key words：心理療法，芸術療法，コラージュ療法</p>	鎌田依里
	第15回	<p>心理療法（2） 箱庭療法</p> <p>箱庭療法はローエンフェルトによって考案され、その後、カルフがユングの考えを導入して発展させ、河合隼雄によって我が国へ導入され、さらに世界中に広がった技法である。本講義では、箱庭療法の分析方法を紹介し、それを応用し、自らが作成したコラージュについて検討を行う。</p> <p>key words：コラージュ療法，箱庭療法，空間象徴</p>	鎌田依里
科目の目的	<p>心理学を学ぶことにより、社会を見つめる感性や現代を生きる人間としての生き方について考える力を養う。自己および他者への理解を深め、社会の中で適応的に生活するために必要な心理学の知識を身に付けることを目的とする。</p> <p>ディプロマポリシー：【知識・理解・思考】</p>		
到達目標	<p>1. 心理学理論による人間理解を深めるとともに自分について振り返る。 2. 心理学的援助の概要と方法について理解し、自らの専門分野に活かす。</p>		
関連科目	<p>【教養・共通基盤科目群】教育学，教育心理学，生命倫理，哲学，人間と宗教，社会学，生活文化と医療，大学の学び入門，大学の学び―専門への誘い―，多職種理解と連携 【専門基礎科目群】生理学Ⅰ・Ⅱ，公衆衛生学，医学概論，看護学概論，臨床心理学</p>		
成績評価方法・基準	<p>定期試験（レポート形式・70%）に、毎回の受講後に作成する小レポートの評価（30%）を加味して評価する。小レポートの内容に対するフィードバックは次回の講義の冒頭に行う。</p>		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>準備学習の内容については前回の講義時に指示をする。各単元について、1時間程度の予習・復習を行うことを目安とする。 講義資料は、概ね講義の前日までにActive Academyにて配布する。</p>		
教科書・参考書	<p>【教科書】繁耕算男（2018）「公認心理師の基礎と実践2 心理学概論」遠見書房</p>		
オフィス・アワー	<p>火・水・金の昼休み（4号館8階研究室）</p>		
国家試験出題基準	<p>なし</p>		

履修条件・履修上の注意	講義中の私語，スマートフォン・携帯電話の使用，講義と関係のない作業（他の科目の学習等）は禁止します。注意しても止めない場合や，それらの行為が頻回に見られる場合は退室を命じ，その回の講義の出席を認めない場合もあります。
-------------	--

講義科目名称： 教育学

授業コード： 2R002

英文科目名称： Education

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
高野 利雄			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 人間の活動としての教育 教育とは何か 人間は教育によって何を達成しようとしているのか 第2回 学習権という人権 義務教育 教育の機会均等 子どもの権利条約 第3回 教育活動の時と場 人間の成長と発達課題 家庭・学校・社会での教育と学習 第4回 学校教育の柱と方法 学習指導要領 教科と特別活動 生徒指導提要 第5回 道徳教育とその位置づけ 特別の教科道徳の開始 道徳をどうとらえるか 第6回 学校教育現場の諸問題 いじめ 不登校 学級崩壊 第7回 教育活動の土台となる信頼関係 良好なコミュニケーション ゴードンメソッド 第8回 さまざまな学習形態 アクティブラーニング シチズンシップエデュケーション 第9回 キャリア教育 自らを生きる・生かす学び 第10回 障害児教育 特別支援教育の考え方と実状 インクルーシブ教育 第11回 家族の変化と教育 貧困格差と教育の課題 虐待への対応 第12回 チームとしての学校 学校保健 スクールカウンセラー スクールソーシャルワーカー 第13回 社会教育と生涯学習 学校以外の学習の場 自分はどこまで学び続けるか 第14回 教育に関する法と制度 福祉 医療 教育の連携 第15回 人生を支える学力とは	高野 高野 高野 高野 高野 高野 高野 高野 高野 高野 高野 高野 高野 高野 高野
科目の目的	教育活動についての学びを通して、看護・医療の対人援助職に必要な教育者の素養を身につける。 【知識・理解・思考】	
到達目標	教育の役割を理解し、対人援助職を目指す自らのありようを述べられること。	
関連科目	心理学、教育心理学	
成績評価方法・基準	試験（60%）、随時の提出物と授業への取り組み（40%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	前回の資料を熟読し、理解して備えること。1コマあたり4時間を目安とする。	
教科書・参考書	教科書・・・使用しない 参考書・・・講義時に紹介する	
オフィス・アワー	講義の前後	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	特になし	

講義科目名称： 教育心理学

授業コード： 2R003

英文科目名称： Educational Psychology

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
鎌田 依里			

授業形態	講義（演習＝エクササイズを含む）15回		担当者
授業計画	第1回	教育心理学を学ぶ意義 ガイダンス 学校教育とは 子供の誕生と消滅 エクササイズ（思い出に残る先生）	鎌田 依里
	第2回	発達の視点を持つ 様々な発達理論 思春期とは？ エクササイズ（自分史グラフ）	鎌田 依里
	第3回	思春期の仲間関係の発達 ギャンググループ チャムグループ ピアグループ エクササイズ（自分たちの体験を振り返る）	鎌田 依里
	第4回	児童期 フロイトの自我理論 心理学のあゆみ エクササイズ	鎌田 依里
	第5回	乳幼児期① 生理的早産仮説 有能な赤ちゃん 愛着形成 エクササイズ	鎌田 依里
	第6回	乳幼児期② ビデオ学習「赤ちゃん」	鎌田 依里
	第7回	青年期の心理と課題 エリクソンの発達理論 エクササイズ（アイデンティティ・ステイタス）	鎌田 依里
	第8回	自己概念 ジェンダー・アイデンティティ 男女の会話スタイル エクササイズ	鎌田 依里
	第9回	学校教育相談 ビデオ学習「学校教育相談」 学校教育相談の歩み チェーン・インタビュー	鎌田 依里
	第10回	学校教育相談② アサーション アクティブ・リスニング エクササイズ（聞く態度で信頼関係はつくられる）	鎌田 依里
	第11回	特別支援教育② 特別支援教育に至る経緯 発達障害の概念の整理 エクササイズ（視覚優位か聴覚優位か）	鎌田 依里
	第12回	教育現場での実践的諸問題① ビデオ学習「多様な性の子どもたち」 不登校やいじめの背景にある性的マイノリティ	鎌田 依里
	第13回	教育現場の実践的諸問題② ビデオ学習「傷つき傷つけられた果てに」 摂食障害 自傷行為（リストカット）	鎌田 依里
	第14回	学校教育と自己肯定感 自己肯定感 エレファントシンドローム エクササイズ（OKマークをペタン）	鎌田 依里
	第15回	学校臨床学という視点 自己実現 エクササイズ（様々な私） まとめ	鎌田 依里
科目の目的	自分や周囲が体験してきた教育を振り返り、その心理的意味を考察することで、人間を理解し、人との関係の取り方や自分自身の有り様を見つめる。【知識・理解・思考】		
到達目標	教育心理学の概要を自分および周囲の人々の体験から理解し、自分自身を考察し、他者との効果的な関係づくりを習得する		
関連科目	教育学 心理学 臨床心理学		
成績評価方法・基準	定期試験（レポート形式・70%）に、毎回の受講後に作成する小レポートの評価（30%）を加味して評価する。小レポートの内容に対するフィードバックは次回の講義の冒頭に行う。		

準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	講義終了時に、次回の予告をする。格別準備はいらないが自分の教育体験をよく想起しておく（45分程度）
教科書・参考書	<p>【教科書】 石隈利紀（編）（2019）「公認心理師の基礎と実践18 教育・学校心理学」遠見書房</p> <p>参考書： 保坂亨著「いま、思春期を問い直す」東京大学出版会 2010年 近藤邦夫他編「子どもの成長 教師の成長～学校臨床の展開」2000年 神田橋條治著「発達障害をめぐって」岩崎学術出版社 2018年</p>
オフィス・アワー	昼休み及び授業前後（場所：非常勤講師室）
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	とくになし

講義科目名称：健康スポーツ理論

授業コード：2R004

英文科目名称：Sports Science

対象カリキュラム：2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
岩城 翔平			

授業形態	講義（12回）・演習（3回）	担当者
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション・目標の設定と達成 受講のルール説明、全15回の流れを解説。自身の大学生活についてのアフターセッションを行い、準備学習の課題を設定する。</p> <p>第2回 健康とスポーツの関わり 健康とは、スポーツとは何かを改めて考える。身近なスポーツ環境について学ぶ。</p> <p>第3回 運動・スポーツを通じたコミュニケーション アリーナでミニ運動会を行う。心と身体の健康と運動・スポーツのつながりについて体感し、考察する。</p> <p>第4回 生涯を通じた運動・スポーツの実践 人生100年時代に自身の健康とどのように向き合っていくのか検討し、仲間たちと協議する。今後の自身の健康と運動・スポーツの関係について考える。</p> <p>第5回 トレーニングの基本理論① 筋収縮の様式やトレーニングの代表的手法について学ぶ。</p> <p>第6回 トレーニングの基本理論② 代表的なトレーニングのバリエーションを学び、体験する。例えば誰しも一度はしたことのある腕立伏せや腹筋にも様々な狙いや意義があることを知る。</p> <p>第7回 トレーニングと栄養 トレーニング効果を十分に得るために摂取すべき栄養素や摂取方法について学ぶ。</p> <p>第8回 ウェイトトレーニングの効果と方法論 バーベルやダンベルを用いた代表的なトレーニングの効果と方法を学ぶ。</p> <p>第9回 トレーニング計画の策定 班活動を行う。それぞれ設定された対象に対して、どのような運動処方をするべきかについて班で協議し、トレーニングプログラムを作成する。</p> <p>第10回 トレーニングプログラムのプレゼンテーション① 第9回で作成したトレーニングプログラムを用いて、設定した対象に向けた運動処方の班別プレゼンテーションを行う。</p> <p>第11回 コーチングの基本理論 コーチングの基本的な理論を学ぶ。前回の発表内容を互いに評価し合い、プレゼンテーションの内容を見直す。</p> <p>第12回 トレーニングプログラムのプレゼンテーション② 第11回で見直し、改善したトレーニングプログラムの班別プレゼンテーションを実施する。班別プレゼンテーションは演習の成績評価に該当する。</p> <p>第13回 心の健康・試験説明 心の健康と社会生活におけるコミュニケーション能力の関係について考え、実践する。試験の内容等について説明する。</p> <p>第14回 講義内容の振り返り・授業内試験実施 これまでの講義を振り返り、要点を解説する。授業内試験は試験の成績評価に該当する。</p> <p>第15回 試験結果のフィードバック、まとめ 試験の結果についてフィードバックする。本講義で得られた成果を今後どのように生活へ役立てるのかを改めて考え、自身の健康とスポーツのかかわりについて具体的にイメージする。</p>	<p>岩城 翔平</p> <p>岩城 翔平</p> <p>岩城 翔平</p> <p>岩城 翔平</p> <p>岩城 翔平</p> <p>岩城 翔平</p> <p>岩城 翔平</p> <p>岩城 翔平</p> <p>岩城 翔平</p> <p>岩城 翔平</p> <p>岩城 翔平</p> <p>岩城 翔平</p> <p>岩城 翔平</p> <p>岩城 翔平</p> <p>岩城 翔平</p> <p>岩城 翔平</p> <p>岩城 翔平</p>
科目の目的	<p>高等学校保健体育において、「生涯にわたり豊かなスポーツライフを継続し、スポーツとの多様な関わり方を状況に応じて選択し、卒業後も継続して実践することができる」素養を身に付けているものとしたときに、高等教育においてはそれを指導したり、自ら組み立てたりするなど健康・スポーツに関する活動を提供する側に回ることができる教養を身に付けるべきである。医療従事者を志す学生として、自身の心身の健康を保持増進することはもとより、家族や仲間、患者、地域社会にも配慮し、健康で豊かな生活を送るサポートができるよう、より実践的な理論を中心に仲間とコミュニケーションをとりながら学んでゆく。本講義内で健康とスポーツに関連する取り組みをとおり、保健医療分野の諸課題を見出し、科学的洞察による的確な判断ができる能力を養う。</p> <p>【コミュニケーション・協調】</p>	

到達目標	<p>【心身の健康と様々なスポーツの関わりについて考える】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業内で接する仲間と上手にコミュニケーションが取れるようになる。 ・生涯にわたる健康は自発的な活動により得られることを理解し、さらに自らが発信者となることで周囲の人々へ健康に関する最新の知見を与えられるようになる。 ・身体運動の基本的な理論を理解し、様々なトレーニングが身体に及ぼす影響について考察できるようになる。 ・受ける側から与える側への転換期であることを理解し、様々な学習に対し自律して取り組む必要性を学ぶ。
関連科目	健康スポーツ実技
成績評価方法・基準	<p>演習（35％）：トレーニングの基礎基本について理解があるか、また、発信者として適切な表現方法でプレゼンできているかどうかを、班別プレゼンテーション内で評価する。</p> <p>試験（65％）：これまでの講義内容について理解できているかを測る授業内試験を行う。</p>
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>1日の中で5分間程度、授業中に作成した目標シートを何度も読み返す。</p> <p>また、学習したトレーニングについて1週間に計40分程度実践し、運動への理解を深める。</p>
教科書・参考書	<p>教科書使用せず。</p> <p>[参考書]</p> <p>「生涯スポーツ実践論：第4版」川西正志・野川春夫 編著 市村出版</p> <p>「NSCAパーソナルトレーナーのための基礎知識」日本語版総監修 森谷敏夫、監修 岡田純一</p> <p>※非常に高価、購入必要無。</p>
オフィス・アワー	講義室または体育棟管理室にて、講義の前後。
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	<p>数回、運動することがある。</p> <p>その際は運動するのに適したスタイルで参加すること。</p>

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
岩城 翔平			

授業形態	実技	担当者
授業計画	第1回 オリエンテーション・からだづくり運動 受講のルール説明、学生自己紹介カードの作成、全15回の流れについて解説。軽強度のエアロビクトレーニングを行い、今後の授業に向けて身体を慣れさせる。	岩城 翔平
	第2回 班編成・安全なスクワットの習得・球技（バレーボール①） HIITトレーニング、班と班長の決定、アイスブレーキング 安全なスクワットの習得、バレーボール、球技補助	岩城 翔平
	第3回 第1回「新体力テスト+」実施 新体力テストの種目を若干変更したものを実施する。種目：20m走、立ち幅跳び、反復横跳び、ボール投げ（男子：バスケットボール、女子：ハンドボール）、上体起こし、プッシュアップ、握力、背筋力、長座体前屈	岩城 翔平
	第4回 班別ミーティング、球技（バレーボール②） アイスブレーキング、班別ミーティング、バレーボール、球技補助	岩城 翔平
	第5回 班別トレーニング①、球技（バレーボール③） アイスブレーキング、班別トレーニング、バレーボール、球技補助	岩城 翔平
	第6回 班別トレーニング②、球技（バドミントン①） アイスブレーキング、班別トレーニング、バドミントン（ダブルス）、球技補助	岩城 翔平
	第7回 班別トレーニング③、球技（バドミントン②） アイスブレーキング、班別トレーニング、バドミントン（ダブルス）、球技補助	岩城 翔平
	第8回 班別トレーニング④、球技（バドミントン③） アイスブレーキング、班別トレーニング、バドミントン（ダブルス）、球技補助	岩城 翔平
	第9回 班別トレーニング⑤、球技（タグラグビー導入） 班別トレーニング、タグを使ったアイスブレーキング、タグに慣れる、ボールに慣れる、ボールハンドリング、効果的なアタックの方法、ディフェンスの方法、ルールの確認	岩城 翔平
	第10回 班別トレーニング⑥、球技（タグラグビー①） タグを使ったアイスブレーキング、班別トレーニング、タグラグビー	岩城 翔平
	第11回 班別トレーニング⑦、球技（タグラグビー②） タグを使ったアイスブレーキング、班別トレーニング、タグラグビー	岩城 翔平
	第12回 班別トレーニング⑧、球技（タグラグビー③） タグを使ったアイスブレーキング、班別トレーニング、タグラグビー	岩城 翔平
	第13回 班別トレーニング⑨、球技（タグラグビー④） タグを使ったアイスブレーキング、班別トレーニング、タグラグビー	岩城 翔平
	第14回 第2回「新体力テスト+」実施 新体力テストの種目を若干変更したものを実施する。種目：20m走、立ち幅跳び、反復横跳び、ボール投げ（男子：バスケットボール、女子：ハンドボール）、上体起こし、プッシュアップ、握力、背筋力、長座体前屈 【班制作物提出】	岩城 翔平
	第15回 「新体力テスト+」結果フィードバック、球技 体力テスト結果をフィードバックする。 全体のまとめ、リクエスト球技を実施する。	岩城 翔平
科目の目的	心身の健康の保持増進や回復とスポーツとの関連性を鑑み、自重で行う基本的なトレーニングや、スポーツ活動の企画実践を試みる。本講義では特に社会生活で必要不可欠である心の健康を司る人材となるべく、スポーツ活動における他者への気配りやコミュニケーション能力の向上を重要なテーマの一つとする。 【スポーツを通じた協調性の獲得】 例えば運動能力レベルが異なる集団であっても、寛容さがあれば誰しもが積極的にスポーツを楽しむ和を作ることができる。より相手に根差した協調性を意識することで、大学生活だけでなく社会生活においても大切な立ち振る舞い方を醸成する。 【体力向上方法の理解と実践】 自身の体力課題を見極め、班で協力し課題に応じたトレーニングを継続して実施することにより、運動経験がない者でも体力を向上させる達成感を味わうことができるようにする。運動経験がある者においては他者へのアドバイスを通じて、自己の考えを他者へ正確に伝える表現方法を学ぶ。 【コミュニケーション・協調】	
到達目標	【運動、スポーツを通じて心身の健康について考える】 ・他者を観察し、その心情を察し思いやることを心掛ける（心のトレーニング）。 ・スポーツ参加者全員が楽しめる場や空気の作り方を考え、学ぶ（心のトレーニング）。	

	・自身の体力的課題に対して計画的にアプローチし、克服することで、運動習慣が身体機能にもたらす効果を実感する（身体のトレーニング）。
関連科目	健康スポーツ理論
成績評価方法・基準	班活動および制作物の提出（60%）：積極的にコミュニケーションを取り活動に取り組んでいるかどうか。 第2回体力テスト結果（30%）：課題として設定した項目のスコアが伸びているかどうか。 準備学習の実施状況（10%）：設定した課題に取り組んだかどうか。 球技の実力の多寡で成績評価はしない。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	第3回の授業で実施する体力テストの結果を参考に、改善したい体力項目に適したトレーニングやストレッチなどを自宅で実施する。1週間に45分程度。
教科書・参考書	教科書無し。 [参考書] 「NSCAパーソナルトレーナーのための基礎知識 第2版」日本語版総監修 森谷敏夫、監修 岡田純一 NSCAジャパン ※非常に高価、購入必要無。
オフィス・アワー	授業の前後
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	スポーツウェア・内履き・タオルが必要。それぞれ高校で使用していたもので可。 明らかに運動に適していない服装、外履きでの参加は認めない。 蓋付きの飲み物のみ持ち込み可。 怪我予防のためピアス・ネックレス等装飾品は外して臨む。

講義科目名称： 生命倫理

授業コード： 2R006

英文科目名称： Bioethics

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
峯村 優一			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 哲学

授業コード： 2R007

英文科目名称： Philosophy

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
赤羽 悠			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 イントロダクション 哲学とは何か 宗教と哲学 哲学と社会学・人類学	赤羽 悠
	第2回 古代哲学（1） 「対話」とは何か／「真理」について 【ソクラテス／プラトン／アリストテレス】	赤羽 悠
	第3回 古代哲学（2） 「生きる技術」についての問い 【ストア派／エピクロス】	赤羽 悠
	第4回 中世哲学 意志と恩恵 【アウグスティヌス】	赤羽 悠
	第5回 近世・近代哲学（1） 大陸合理論／「理性」について 【デカルト／スピノザ】	赤羽 悠
	第6回 近世・近代哲学（2） 社会契約論／「国家／社会」とは何か 【ホッブズ／ロック／ルソー】	赤羽 悠
	第7回 近世・近代哲学（3） イギリス経験論の系譜／「私」はどのようにつくられるのか 【ロック／バークリー／ヒューム】	赤羽 悠
	第8回 近世・近代哲学（5） ドイツ観念論の出発点としてのカント／「理性」批判 【カント】	赤羽 悠
	第9回 近世・近代哲学（5） ドイツ観念論の展開 【フィヒテ／ヘーゲル】	赤羽 悠
	第10回 近代哲学の問い直し（1） 「真理」と「道徳」を問う 【ニーチェ】	赤羽 悠
	第11回 近代哲学の問い直し（2） 「意識」と「主観」を問う 【フロイト、マルクス】	赤羽 悠
	第12回 現代哲学（1） 「現象」を考える 【フッサール、メルロ＝ポンティ】	赤羽 悠
	第13回 現代哲学（2） 「実存」をめぐって 【ハイデガー、サルトル】	赤羽 悠
	第14回 現代哲学（3） 「全体主義」の経験から考える 【アーレント】	赤羽 悠
	第15回 講義の総括 現代哲学のその後 改めて、哲学とは何か	赤羽 悠
科目の目的	哲学をすることは、日常からかけ離れた抽象的なことをあれこれ考えることではなく、身近にあるが、しかし容易には答えの出ない問題を、普段よりもう一段掘り下げて考えてみることであり、歴	

	<p>史上の偉大な哲学者が行ってきたことも、実はそうしたことにほかならない。この講義では、そのような哲学者たちの思考の営みをみながら、受講者自身が生きていくなかで問題に直面する際、役立つような哲学的思考を身に着けてもらうことを目指す。</p> <p>講義は「授業計画」に従って進めるが、受講者の理解度等をふまえて若干進度を変更する場合がある。</p> <p>ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）における位置づけ：本科目は【感性・意欲・活動】に該当する。</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歴史上の哲学者がどのような問いを立て、その問いにどのように取り組んできたのかを理解する。 2. 1を通じ、哲学的に問いを立てるといったことがどういうことかを学ぶ。 3. 以上を通じ、生きていくなかで直面する様々な問題に対処するにあたり必要とされる、哲学的な思考を身に着ける。
関連科目	<ul style="list-style-type: none"> ● 「人間と宗教」、「社会学」、「心理学」、「生命倫理」等の科目と関連を有する。
成績評価方法・基準	<ul style="list-style-type: none"> ● 期末筆記試験（論述）の成績による（100 %）。 ● 詳細については初回講義時に説明する。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<ul style="list-style-type: none"> ● 予習については特に求めない。講義の場で話を聞き、またそれについてその場で考えることに集中してもらいたい。 ● 他方、授業後に内容を振り返り、扱われたテーマについて自分なりに考えをまとめる復習の作業はおこなってほしい。そのために必要な学習時間については、概ね1時間程度を目安とする。
教科書・参考書	<ul style="list-style-type: none"> ● 教科書は用いない。講義は講義資料（レジュメ）を配布し、それに基づいて行う。 ● 初学者にもわかりやすい哲学史の教科書としては、竹田青嗣・西研編『はじめての哲学史』（有斐閣アルマ）などがあるが、講義をそれに沿って行うわけではない。 ● 哲学とは何かについて考えるうえでは鷲田清一著『哲学の使い方』（岩波新書）などが役立つが、こちらもあくまで参考として挙げておきたい。 ● その他の参考文献については、講義の中で紹介したい。
オフィス・アワー	<ul style="list-style-type: none"> ● 講義の前後（場所：教室もしくは非常勤講師控室）
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	

講義科目名称： 現代文学

授業コード： 2R008

英文科目名称： Modern Literature

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
徳本 善彦			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 ガイダンス：「文学」とは何か 日本の近代化と「文学」について歴史的観点から学ぶ。</p> <p>第2回 文学テキストを（読む） 文学作品をテキストとして読む方法について、実践例を通して学ぶ。</p> <p>第3回 寺田寅彦「団栗」を読む 「写実」的な作品を通して、小説世界の時間・空間を整理し小説を立体的に読む。</p> <p>第4回 志賀直哉「焚火」を読む テキストをじっくり読むことで、物語（ストーリー）に頼らない小説の読み方を学ぶ。</p> <p>第5回 芥川龍之介「トロッコ」を読む 小説の物語的要素を捉え、小説世界の構造を理解する。</p> <p>第6回 群馬県の作家：萩原朔太郎の詩を読む 日本の近代詩に多大な影響を与えた萩原朔太郎の詩を鑑賞する。</p> <p>第7回 川端康成「葬式の名人」を読む 小説に書かれた、言葉の身体／身体という言葉について考える。</p> <p>第8回 小レポート：矢田津世子「茶粥の記」 矢田津世子「茶粥の記」を事前に読んだ上で、授業内小レポートに取り組む。</p> <p>第9回 解説：矢田津世子「茶粥の記」を読む 小レポートの講評と、課題小説の読解の一例を解説する。</p> <p>第10回 上林暁「花の精」を読む 私小説のテキストを吟味し、細かなモチーフに注目して小説を読む方法を学ぶ。</p> <p>第11回 坂口安吾「真珠」を読む 戦争と文学について、歴史的事実が物語として受容される過程を読み解く。</p> <p>第12回 井伏鱒二「遥拝隊長」を読む 終わらない戦争を生きる人物を通して、戦争と記憶について考える。</p> <p>第13回 現代詩を読む 『荒地』や『櫛』といった戦後の現代詩誌を中心に現代詩について学ぶ。</p> <p>第14回 石牟礼道子「死民たちの春」を読む 経済成長と公害、東京と地方など戦後社会の問題を文学を通して考える。</p> <p>第15回 村上春樹「アイロンのある風景」を読む とらえようのないものを比喩を通して語ること、災害と文学について考える。</p>	徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦
科目の目的	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文学作品を読み、不明な事柄を調べることで当時の時代状況や社会問題などを理解する。 2. テキストの中に問題を見出すことを通して、深く考えることで筋道の通った読解を見出す。 3. 小レポートの作成を通して、自分の考察を論理的に表現する力を身につける。【コミュニケーション・協調】 	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文学作品の書かれた当時の時代状況からの視点を体験することで、読む視点の複数性を理解する。 2. テキストの中に問題を見出すことを通して、情報を批判的に評価する読解力を養う。 3. 小レポート・期末レポートの作成に取り組むことで、自分の意見を客観的・論理的に表現する技術を身につける。 	
関連科目	芸術・哲学・社会学	
成績評価方法・基準	授業内小レポート（50%）、期末レポート（50%）。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<ul style="list-style-type: none"> ・授業前＝講義で使用するテキストを読み問題を整理する。（1.0時間） ・授業後＝授業内容の復習。（0.5時間） 	
教科書・参考書	教科書：使用しない（講義資料は1週間前を目処にActive Academyを通して配布します。各自で印刷して授業に持参して下さい）。	
オフィス・アワー	授業の前後（非常勤講師室）。	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 人間と宗教

授業コード： 2R009

英文科目名称： Human Beings and Religion

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
竹村 一男			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 宗教を学ぶにあたって 宗教を学ための必要な基礎的事項について説明する。講義の前半は宗教の種類、宗教の研究分野、そして、3大宗教について、その概要と現状に言及する。後半は芸術作品や世界遺産の中から宗教に関する画像を中心に紹介する。</p>	竹村 一男
	<p>第2回 宗教本質論 宗教とは何か 過去から現在に至る哲学、神学、心理学などの代表的な思想、及び昨今の脳科学は、宗教をどのように解釈してきたかを解説する。更に、最も難解なテーマである「宗教とは何か」について考えてみたい。</p>	竹村 一男
	<p>第3回 キリスト教概説 世界最多の宗教人口をもつキリスト教の教義と歴史、現状について講述する。また、その文化・歴史など画像を交え説明する。特に新約聖書、福音書の解説については、ジョットの絵画による概要説明を行う。</p>	竹村 一男
	<p>第4回 イスラム教概説 イスラム教の教義と歴史、現状について講述する。その文化・歴史など画像を交え説明する。コーランの記述内容、スンニ派とシーア派の相違点、更に昨今の国際情勢におけるイスラームなどその現状にも言及する。</p>	竹村 一男
	<p>第5回 仏教概説 仏教の教義と歴史、現状について講述し、その文化・歴史や伝播の経緯など画像を交え説明する。インドにおける仏教の成立と展開を中心に、中国仏教、南伝仏教、チベット仏教にも言及する。</p>	竹村 一男
	<p>第6回 日本の仏教 日本の仏教の教義と歴史、現状について講述する。日本への仏教の伝来とその展開、各宗派による仏教思想の比較などを中心に解説し、更に寺院建築や仏像、曼荼羅など仏教文化遺産についても画像を交え解説する。</p>	竹村 一男
	<p>第7回 日本の民俗宗教 日本の宗教の基層をなす民俗宗教について、祖霊信仰や民俗神道、神社神道などを中心にその文化と歴史について講述する。日本の民俗宗教には様々な儀礼や祭祀が含まれるが、仏教との神仏習合も多々みられる。それらの特徴的な事例についても、画像を交え紹介する。</p>	竹村 一男
	<p>第8回 世界の民族宗教 特定民族に受け継がれる民族宗教ユダヤ教とヒンドゥー教について、その文化・歴史などを講述する。ユダヤ教はキリスト教・イスラム教の、ヒンドゥー教は仏教の起源となった宗教であるが、現在においても多数の信徒をもつ。その経緯と、なぜ民族の枠内に留まったかについて解説し、旧約聖書の記述については、地球環境史との関係もふまえて、画像を交え解説する。</p>	竹村 一男
	<p>第9回 中国の民族宗教 中国の民族宗教である儒教と道教について、その文化・歴史など画像を交え講述する。特に儒教については礼教（道徳）面が強調されることが多いが、その宗教面についても解説する。さらに、両宗教が日本に与えた影響などにも言及する。</p>	竹村 一男
	<p>第10回 新宗教 1830年代以降に成立した新宗教について、天理教、創価学会、モルモン教会を例に、その概要と歴史、教義について講述する。現在はこれらの新宗教も多くの信徒を持つに至り、家庭の宗教として信仰される例も多い。上記以外の幾つかの宗教団体、海外の新宗教などについても画像を交え解説する。</p>	竹村 一男
	<p>第11回 宗教と科学 宗教研究の事例 宗教を対象とする研究には、神学などの信仰者の視点によるものと、比較宗教学のように中立的な視点からのものがある。本講座は後者に属するが、ここでは比較宗教学、宗教社会学、宗教心理学などの中立的な社会科学の視点からなされてきた研究学説について解説する。さらに、反社会的教団の特徴や、講師の研究事例なども交えて講述する。</p>	竹村 一男

	<p>第12回 宗教と文化・芸術 宗教文化と芸術について講述する。古来より、宗教は芸術にも様々な影響を及ぼしてきた。その中で、特に美術と音楽、舞踊について、画像や映像を参考に解説する。また、宗教史跡、宗教建造物などの文化遺産にも言及する。</p> <p>第13回 グローバル化と宗教 グローバル化が進む現在における宗教の諸問題について解説する。現状の宗教動向に加え、反社会的教団による事件、IS問題、民族紛争などの事例について講述する。</p> <p>第14回 宗教と医療 宗教と医療に関する歴史や現状の諸問題について講述する。宗教団体と医療組織、特定教団の教義と輸血問題、終末医療などの医療現場における宗教の事例についても紹介する。</p> <p>第15回 神話・文学における宗教、及びまとめ 前半は、内村鑑三の宗教について講師の事例研究も交え講述する。後半は、聖典などに見られる印象的な言説や、文学作品における記述の紹介と、全講義のまとめを行う。</p>	<p>竹村 一男</p> <p>竹村 一男</p> <p>竹村 一男</p> <p>竹村 一男</p>
科目の目的	<p>宗教は私達の身近に存在する。多くの家庭には仏壇や神棚が置かれ、年中行事や冠婚葬祭も宗教により執り行われる。旅行などで各地に足を運ぶと、おおよそ神社仏閣、宗教施設が存在しない地域はない。その一方で、宗教戦争の様相を呈した民族紛争がニュースに登場することも多い。本講義においては、このように多くの諸相において人間に関わりをもつ「宗教」とは何かについて考え、さらに様々な宗教を取上げ、その教義、歴史、さらに文化社会的側面について講述する。宗教理解は私達人間の理解、さらに文化・社会理解にも繋がる。</p> <p>なお、本講義は特定の宗教の視点によるものではなく、中立的な観点から広範に宗教を扱う。受講生各自の宗教観は人それぞれであろうが、医療現場における患者（被治療者）の宗教観も様々であるため、医療者には中立的かつ広範な視点での宗教理解が必要となってくる。医療に携わろうとする者はそのことを理解したうえで、私達人間に与えられた生命をまもること、与えられた生命をよりよく生きることが大切かと考える。【感心・意欲・活動】</p>	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ● それぞれの宗教を比較し、その歴史や教義、死生観などを分析、説明することが出来る。 ● 宗教にかかわる文化や時事問題などを理解し、適切に説明することが出来る。 ● 将来の医療現場において、患者や関係者の宗教観を理解し、適切かつ発展的な行動がとれる。 	
関連科目	哲学 心理学 社会学 芸術	
成績評価方法・基準	定期試験（100%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>1時間程度（計15回15時間）、講義内容の再確認と復習を行う。より深く学びたい受講生には、興味のある教典・聖典や、宗教に関連した文学作品などの読書に並行して、比較宗教学による文献の読解をお勧めする。最初は簡単な概説書でもよいが、以下に推薦文献をあげる。文献例：『イスラーム文化』井筒俊彦（岩波文庫）、『ヒンドゥー教』森本達雄（中公新書）、『儒教とは何か』加地伸行（中公新書）、『神道とは何か』伊藤 聡（中公新書）、『日本の民俗宗教』宮家 準（講談社学術文庫）、『世界の宗教』岸本英夫編（大明堂 絶版）、『森林の思考・砂漠の思考』鈴木秀夫（NHKブックス）、『現代医学と宗教』日野原重明（岩波書店）など。また、信仰者以外の人にとっては「聖書」や「コーラン」は難渋な書物であろうが、聴講によって基礎知識を得た後に読むと、理解が変わってくる。</p>	
教科書・参考書	<p>教科書 使用しない。必要に応じてその都度、プリントを配付する。</p> <p>参考書1 『ブッダの言葉』中村 元訳（岩波文庫）</p> <p>参考書2 『共同訳聖書』（日本聖書協会）</p> <p>参考書3 『コーラン』井筒俊彦訳（岩波文庫）</p>	
オフィス・アワー	講義終了後の教室。または講師出校時の非常勤講師室。	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	各回のプリントを事前にActive Academyにアップロードしておきます。受講者はプリントアウトして授業に出席してください。	

講義科目名称： 芸術

授業コード： 2R010

英文科目名称： Art

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
東 晴美			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 ガイダンス：オペラ、歌舞伎から現代演劇まで。舞台芸術の幅広さと、他の芸術ジャンルとの交流 舞台芸術は、言語、音楽、身体、美術などの要素を備えた総合芸術であることを紹介します。また、舞台芸術が様々なジャンルの芸術と深い関係があることを理解し、その上で舞台芸術を学ぶ意義について考えます。	東 晴美
	第2回 ドラマ（物語）：創作された物語から、証言まで ギリシャ悲劇やシェイクスピアの作品において、ドラマはどのような構造を持っているかを考えます。またそのようなドラマを突き崩そうとしたベケットの作品や、ストーリーテリングや証言などポストドラマとしての現代演劇の取り組みを紹介します。	東 晴美
	第3回 劇場：社会と劇場、劇場と舞台芸術の関係 ギリシャ劇場から額縁舞台を経て、現代に至る劇場の変遷が、西洋の舞台芸術の歴史と呼応していることを学びます。また、舞台芸術における劇場の役割を考察します。	東 晴美
	第4回 観客：もう一人の作り手として 舞台芸術の観客は、他の芸術と異なり物語をともに作りあげる存在でもあります。舞台芸術と観客の関係性について、ギリシャ時代から現代までの変遷を考えます。	東 晴美
	第5回 身体：身体文化とことばの関係 俳優によって登場人物が表現されるリアリティについて、近代に絶大な影響を与えた俳優訓練法・スタニスラフスキーシステムを例に考察します。また、物語をつむぎだす言葉と身体の関係性を再考する実践も紹介します。	東 晴美
	第6回 ジェンダー：演じる性と演じられる性（小レポート） 演じる性として女優について考察します。また、舞台芸術では女性をどのように表現してきたか、演じられる性についても紹介します。翌週にレポートについてコメントをします。	東 晴美
	第7回 能：物語のビジュアルイメージ化 能楽の基礎について学びます。また物語がビジュアルにイメージ化され定着していくことを平家物語を題材にした作品を例に考えます。また、600年前に生まれた芸能が、今もなお息づいている理由に迫ります。	東 晴美
	第8回 狂言：笑いの表現 笑いは文化を象徴するキーワードです。笑いの芸能である狂言の基礎について学びます。またシェイクスピアの作品をもとにした新作狂言など、狂言師の新しい挑戦を紹介します。	東 晴美
	第9回 歌舞伎：現代に生きる古典芸能 歌舞伎の基礎について学びます。歌舞伎は冷凍保存された古典ではなく、常に同時代のエンターテインメントであろうとしています。能の物語を継承しながら、江戸時代としての現代劇として再生した「京鹿子娘道成寺」を例に考えます。	東 晴美
	第10回 文楽：人形の表現と語る表現（小レポート） 文楽の基礎について学びます。北野武の映画「ドールズ」を紹介しながら、今日における文楽の可能性を考えます。翌週にレポートについてコメントをします。	東 晴美
	第11回 ゲームと物語：日本の物語の再生 日本の歴史上の人物の伝記がゲームのコンテンツとなり、さらにその物語が、アニメ、漫画、舞台へと展開しています。このような流れを例に取りながら、日本の物語の新たな再生について考察します。	東 晴美
	第12回 アニメ・マンガ：絵画と文学、舞台メディアの交流史 欧米と異なり、大人も愛する日本のマンガ文化について、江戸時代における絵画、文学、演劇のメディアミックス文化を源流として考察します。また、能や、歌舞伎など日本の伝統的なコンテンツがどのようにアニメやマンガに取り入れられているかを探求します。	東 晴美

	<p>第13回 「ライオンキング」と文楽 文楽の人形の技術は、世界的にも大きなインパクトを与え続けています。「ライオンキング」や「キングコング」など、文楽にインスパイアされた表現を紹介します。</p> <p>第14回 2.5次元ミュージカル 現代日本では、舞台芸術、アニメ、ゲームなどが、メディアの垣根を越え縦横に入り交じりつつあります。代表例として漫画「テニスの王子様」のアニメ、ゲーム、ミュージカル化を紹介します。また、二次創作と日本の著作権意識の源流について考察します。</p> <p>第15回 まとめ:ひろがる芸術の世界 ボーカロイド初音ミクによる近松門左衛門作「曾根崎心中」の道行きのパフォーマンスを例にとりながら、新しいメディアと既存の文化との関係について考察します。これまでの授業について振り返り、ポイントを整理します。その上で、講義全体を振り返ったレポートを書いてもらいます。</p>	東 晴美 東 晴美 東 晴美
科目の目的	<p>この授業では、オペラ、歌舞伎から現代演劇までを含む舞台芸術を例にとり、芸術について学びます。</p> <p>まず、他の芸術と異なる舞台芸術ならではの特色について、西洋舞台芸術の歴史を通して考えます。</p> <p>次に、西洋とは異なる独自の発展をとげた日本の舞台芸術を概観します。また、難解だと思われるがちな古典芸能の鑑賞のポイントも紹介します。</p> <p>最後に、漫画、アニメ、ゲーム、ミュージカルなどの現代の表象文化を、芸術の視点から考察します。</p> <p>これまでに舞台芸術が扱ってきたテーマを通して、人と社会に深い関心を持って、社会人としての教養を身につけます。【感心・意欲・活動】</p>	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・舞台芸術を例に、芸術学の基本を学ぶ。 ・日本の芸能の特色を学ぶ。また、伝統芸能は、江戸時代以前の文化でありながら、近代以降も同時代の文化の影響も受けていることを理解する。 ・現代のメディアに、伝統的なコンテンツがどのように取り入れられているかを学ぶ。 ・舞台芸術が扱っているテーマを通して、人と社会に深い関心を持つ力を身につける。 	
関連科目	社会学	
成績評価方法・基準	授業中の小レポート（2回）各30%、期末教場レポート30%、授業中アンケートなど10%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	新聞、雑誌、テレビなどで紹介される舞台芸術や芸能に関する情報に関心を持つことがのぞましい。授業中のアンケートや授業後のレポートを提出に備えて1時間程度の学習をすることが望ましい。	
教科書・参考書	webポータルシステムにて講義資料をデータで配布(授業日前にデータを掲載、授業終了後1週間はダウンロード可)	
オフィス・アワー	木曜日 12:30～13:00	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	各テーマと、自分が現在関心をもっていることと関連づけながら学ぶことを求めます。	

講義科目名称： 法学(日本国憲法含む)

授業コード： 2R011

英文科目名称： Law(the Constitution of Japan)

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
西川 久貴			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 法学1 法律にはどういったものがあるのか、法は何の役にたっているのか、結局法とは何か	西川久貴
	第2回 法学2 法も数ある文化の一つである、道徳的にはダメでも法的にはダメじゃない	西川久貴
	第3回 法学3 法律は絶対なの？	西川久貴
	第4回 法学4 正義って何？	西川久貴
	第5回 法学5 法はどういうところで活躍しているの？、国家って何？	西川久貴
	第6回 法学6 犯罪ってどういうもの？	西川久貴
	第7回 法学7 家族って何？、夫婦って何？	西川久貴
	第8回 法学8 契約って何？	西川久貴
	第9回 法学9 働くことの意味は何？、法学ってどういう学問？（前半のまとめとして）	西川久貴
	第10回 憲法総論 憲法の意味、国民主権、平和主義、憲法9条の考え方	西川久貴
	第11回 基本的人権1 人権とは、人権の種類、公共の福祉、幸福追求権、法の下での平等	西川久貴
	第12回 基本的人権2 精神的自由、人身の自由	西川久貴
	第13回 基本的人権3 経済的自由、社会権、参政権	西川久貴
	第14回 統治機構 権力分立の原理、憲法改正	西川久貴
	第15回 まとめ 個人の自由・平等という考え方を通しての社会問題についての意見発表	西川久貴
科目の目的	<p>【多面的な思考・憲法における基本的価値の理解】</p> <p>私たちが生活し、働く社会は快適かつ便利である反面、現在大変複雑になっています。他方で、本科目が対象とする法は、そのような社会に広く、抜け難く組み込まれています。将来どのような分野に進もうとも、医療や福祉といった分野に限らず、日本国内で法が及ばない分野はないといえるほどです。</p> <p>そして、法の本質は道徳や単なる決まりごととは違います。</p> <p>私たちが社会人として、生き抜いていくためには、単に損か得かというだけの判断では不足です。また相手をどう論破するかという心構えで対処しきれるものでもありません。</p> <p>そのため、法学をとおして、法の知識だけでなく、法的な考え方を理解することを目的とします。</p> <p>【知識・理解・思考】</p>	
到達目標	<p>1 社会人として複雑な社会を理解し、様々なトラブルや悩みを法的に解決する糸口を見つけられることを目標としています。</p> <p>2 日本国憲法のベースにある人権や法の支配といった価値を学び、その価値をもとに考えられるということを目標としています。</p>	
関連科目	哲学、社会学、経済学	
成績評価方法・基準	筆記試験（短い論述問題含む）により評価（100%）。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	次回講義内容に関する時事問題又は身近な問題についての自分なりの検討。準備学習に必要な学習時間の目安は30分です。	
教科書・参考書	教科書は使用しません。	

	<p>参考書：「法学テキストの読み方」大橋洋一（有斐閣） 「法と社会 新しい法学入門」碧海純一（中公新書） 「現代法学入門（第4版）」伊藤正己 加藤一郎編（有斐閣双書） 「憲法（第6版）」芦部信喜 高橋和之補訂（岩波書店）</p>
オフィス・アワー	講義の前後。講義室または講師控室
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	講義資料がある場合は、講義の前日までにはActive Academyにアップロードするので、各自プリントアウトのうえ持参ください。

講義科目名称： 社会学

授業コード： 2R012

英文科目名称： Sociology

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
坂本 祐子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 社会学とは 社会の成り立ち 個人と集団と社会 第2回 個人の生活の理解 多面的な日常生活のとらえ方 第3回 保健・医療・看護とQOL QOL概念の変遷とその時代背景 現代医療におけるQOL概念の意義 第4回 社会的な健康 健康とは ソーシャル・キャピタルと健康 第5回 家族（1） 家族とは 家族の個人化と多様化 第6回 家族（2） ライフコースの変化と家族 第7回 家族（3） 家族のケア機能 ケアとジェンダー 第8回 家族（4） 児童虐待 ドメスティック・バイオレンス 高齢者虐待 第9回 社会階層 連鎖する貧困 社会的排除 第10回 地域社会（1） 地域社会とは 地域社会の変動とコミュニティ 第11回 地域社会（2） 人々の地域社会との関わり 第12回 地域社会（3） 社会的ネットワークとその意義 第13回 地域社会（4） コミュニティ形成とその諸課題 第14回 集団・組織 フォーマルな組織とインフォーマルな組織 第15回 ふりかえり 社会的存在としての人間 医療と社会情勢の変化	坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子
科目の目的	現在、日本は人口減少、経済格差や健康格差等多くの課題を抱えており、健康や生活を専門とする医療職は、医療や保健だけでなく、福祉、労働、地域等のあらゆる分野での活躍が期待されている。この科目は、適切な看護技術を提供するだけでなく、社会情勢の変化に注目し、身近な看護に関連する社会の有り様について考えるとともに、人々の生活や家族との関係、地域社会の動向を踏まえた適切な保健医療サービスの提供を可能にする知識の形成を目的とする。【実践・探究・研究】	
到達目標	1. 社会情勢の変化をとらえ、その社会で生きる個人の生活を考える際には、様々な切り口（家族・ライフスタイル・健康・地域社会とのつながり等）があることが理解できる。 2. 人間にとって社会とは何か、私たちが生きている現代社会のあり方を社会科学的な視点で考察することができる。 3. 専門援助者として、家族の変化や虐待・DV等の暴力にどのように対応すべきか考えることができる。	
関連科目	法学（日本国憲法含む） 経済学 生命倫理 生活文化と医療 地域ボランティア活動論 環境学 大学の学び入門 多職種理解と連携 情報リテラシー	
成績評価方法・基準	講義時間内に、何度か小レポートを実施（次回講義以降に返却）。定期試験70%・小レポート30%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	Active Academyにより資料を配布するので、資料内の不明な用語等を調べてくること。また、前回講義の重要事項を見直しておくこと。日頃から新聞に目を通すことを習慣にし、1週間で4時間半以上を自己学習に必要な時間の目安とする。	
教科書・参考書	使用しない	
オフィス・アワー	授業の前後（場所：非常勤講師室）	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	Active Academyにより資料を配布するので（前回講義翌日から当該日まで）、各自講義中に使用できるように準備しておくこと。	

	第12回	課題レポートの説明 本講義では、「生活文化と医療」をテーマにしたレポート課題があります。ここでは、ていねいにレポートの書き方の説明をします。近い将来、皆さんは医療従事者として患者やその家族と接する機会があると考えます。レポートでは、皆さん自身の生活に目を向けてもらい、日常生活の中での出来事などを例にまとめてもらいます	鈴木 英恵
	第13回	福祉と民俗 老いと福祉をキーワードに、脳を活性化させ、認知症を防ぐ回想法についてお話します。テキストを中心に、長寿の祝いの習俗もみていきます。	鈴木 英恵
	第14回	道の駅の農産物直売所にみる高齢者の活躍 群馬県利根郡川場村のお年寄り、元気な方が多いです。村内の多数のお年寄りが野菜や果物を道の駅川場田園プラザの農産物直売所に納品しています。高齢者の元気の秘訣を道の駅と関連付けて考えてみます。	鈴木 英恵
	第15回	まとめ（看取りと先祖供養） 現代社会では、個人やその家の考えによって供養の方法がさまざまです。ここでは、供養とは何かを考え、故人を偲ぶ習俗を見ていきます。	鈴木 英恵
科目の目的	本講義では、伝統的な医療習俗を取り上げます。具体的にいうと、伝統的な医療習俗とは民間に伝承する病気の捉え方、治癒の方法など、いわゆる民間療法が対象となります。民間療法は、医師や医療従事者より古くから存在し、私たちの生活に根付いてきました。ここでは、群馬県内を中心に地域医療の対象となる人びとの暮らしに焦点をあて、現代社会を生きる人びとが病いをどのように考え、健康を願って日々過ごしているのかを考えていきます現代における。医療技術は日々進歩し、近代的な医療が病院で施されます。しかしその一方で、人は重い病気や完治の困難な病気を抱えると、よりよい健康状態を求めて、まじない、お守り、お札など神仏の力を心の拠り所としています。こうした人びとの心意も、伝統的な医療習俗のひとつです。本講義をとおり、現代を生きる人びとの生活文化から医療との接点を実感し、患者やその家族の精神的な面を考慮できる保健医療従事者になることを目的とします。 【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】		
到達目標	伝統的な医療習俗を学ぶことは、いまの生活の質を向上させる可能性を持っています。現代の私たちの暮らしに繋がる新たな視点や考えを示してくれるのが、伝統的な医療習俗と言えます。今後、皆さんは赤子からお年寄りまで、あらゆる世代の患者やその家族と接するときに来ると考えます。こうした伝統的な医療習俗の話題を持つことで、コミュニケーション能力を高めることが期待できると考えます。同時に、患者らの心の動きを理解し、精神的な面のサポートも可能だと思えます。実生活の中から医療、看護などに関連する教養を深め、物事を考える能力を身につけることを目標とします。		
関連科目	生命倫理、家族社会学		
成績評価方法・基準	死生観に関するレポート課題（30%）、生活文化と医療に関するレポート課題（30%）、講義内容に関するミニテスト（40%）。2つのレポート課題の提出は必須です。課題未提出者の単位取得は認めません。		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	医療に関連すること（病いの存在と治癒祈願、健康維持の方法など）に興味を持ってください。そして日々の生活の中から、医療・健康・病いなどに関連する事柄を自分で探し出してみてください。講義では、そのようなヒントになることをお話しします。人は生きている限り、病いと向き合って生きていきます。自分の身体の体調が悪いとき、あるいは病気や怪我をしたとき、どのような行動をして健康な身体を取り戻すでしょうか。自身を含み、身近な人たち（父母、祖父母、友人、知人など）は如何にして病いと向き合い、正常な身体を取り戻しているのかを考えてみましょう。私たちの暮らしを注意深く観察することで、医療との接点を知り、それと結びつく課題を発見できるようになります。それらの意味をひとつずつていねいに考えることで、「なぜ」という疑問を解決することができます。授業前に、90分ほど時間をかけてテキストをじっくり読み、授業内容と合わせて自分なりの考えをまとめてみてください。		
教科書・参考書	教科書：板橋春夫 2019 『叢書・いのちの民俗学3 生死 看取りと臨終の民俗 ゆらぐ伝統的生命観』 社会評論社 参考書1：福田アジオほか編 2019 『図解案内 日本の民俗』 吉川弘文館 参考書2：根岸謙之助 1991 『医療民俗学論』 雄山閣 必要に応じて、講義に関する資料を配布します。		
オフィス・アワー	授業の前後（場所：非常勤講師室）		
国家試験出題基準			
履修条件・履修上の注意			

講義科目名称： 経済学

授業コード： 2R014

英文科目名称： Economics

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
飯島 正義			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 経済学で何を学ぶのか 経済学を学ぶことの意義、授業内容と進め方、成績評価等について説明します。	飯島 正義
	第2回 経済学の歩み アダム・スミスからケインズまでの流れを取り上げます。	飯島 正義
	第3回 国民経済の仕組み 経済の3主体（家計・企業・政府）とその関係について説明します。	飯島 正義
	第4回 市場メカニズム 市場メカニズムとは何か、市場メカニズムのメリット・デメリットについて説明します。	飯島 正義
	第5回 景気循環 景気循環とは何か、日本の「景気指標」を読んでいきます。	飯島 正義
	第6回 物価 物価とは何か、物価指数、インフレ・デフレと私たちの生活について説明します。	飯島 正義
	第7回 政府の役割 市場の失敗の是正、経済の安定化について説明します。	飯島 正義
	第8回 金融政策と経済の安定化 金利政策、公開市場操作、預金準備率操作、金融の量的緩和等について説明します。	飯島 正義
	第9回 財政政策と経済の安定化 税制、財政支出、日本の財政状況について説明します。	飯島 正義
	第10回 国内総生産（GDP）（1） 国内総生産とは何か、三面等価の原則について説明します。	飯島 正義
	第11回 国内総生産（GDP）（2） 三面等価の原則の視点から「国民経済計算」（内閣府）のデータを読んでいきます。	飯島 正義
	第12回 経済成長 経済成長とは何か、成長の要因、日本の経済成長の推移を確認します。	飯島 正義
	第13回 貿易・国際収支 貿易に関する理論、国際収支とは何か、日本の貿易・国際収支の現状を「国際収支表」で確認します。	飯島 正義
	第14回 為替レート 為替レートとは何か、為替レートの変動と日本経済への影響について説明します。	飯島 正義
	第15回 少子高齢化と日本経済 少子高齢化とは何か、少子高齢化が今後の日本経済にどのような影響を及ぼすのかについて説明します。	飯島 正義
科目の目的	経済学は、私たちの経済生活の中に存在する本質を明らかにすることを目的とした学問です。したがって、経済学を学ぶということは、私たちの経済生活そのものを知ることにつながります。【知識・理解・思考】	
到達目標	1. 経済学の基礎知識を身につけることができます。 2. 経済学の基礎知識を使って、現実の経済ニュース等を理解できるようになります。	
関連科目	特にありません。	
成績評価方法・基準	授業内における小テスト40%（3～4回、プリント参照可）、定期試験60%で総合的に評価します。 なお、小テストのプリントは授業時に回収し、次週返却します。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	プリント資料で前回の授業内容を復習するとともに、次回の授業内容をシラバス、Web上の資料で大筋をつかんでおいて下さい。その際、授業で紹介する参考文献等を利用して2時間復習・予習にあてて下さい。	
教科書・参考書	教科書は使用しません。授業ではプリント資料を使います。また、参考書については必要に応じて紹介します。	
オフィス・アワー	授業の前後の時間に講師室で対応します。	
国家試験出題基準	該当しません。	

履修条件・履修上の注意	授業資料をWeb上に添付しますので、各自印刷して持参して下さい。なお、資料の添付期間は前回授業翌日から2週間とします。
-------------	---

講義科目名称： 地域ボランティア活動論

授業コード： 2R015

英文科目名称： Volunteer Activities in a Community

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
竹澤 泰子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 基礎生物学

授業コード： 2R017

英文科目名称： Basic Biology

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
佐藤久美子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 ヒトへの進化 生命を支える物質 (1) ①生命の誕生と進化、ヒトへの進化について概説 ②生命現象の普遍的な特質、一様性、多様性、連続性について ③生命活動に主要な役割を持つ構成成分(1) ・水の重要性 ・タンパク質	佐藤久美子
	第2回 生命を支える物質 (2) 生命活動に主要な役割を持つ構成成分(2) ・炭水化物 (糖質) ・脂質 ・核酸 ・無機質 (無機塩類)	佐藤久美子
	第2回～3回 生命の単位 ①ウイルス、原核細胞 (細菌類を含む)、真核細胞 ②真核細胞の構造と機能 ・細胞膜の構造と機能 ・細胞質基質の役割 ・核の構造と機能 ・粗面小胞体の構造と機能 ・滑面小胞体の構造と機能 ・ゴルジ体の構造と機能 ・リソソーム ・ペルオキシソーム ・ミトコンドリア ・色素体 ・細胞骨格の種類とその役割	佐藤久美子
	第4回～5回 細胞の増殖・生殖細胞の形成 ①細胞周期 ②間期 (S期、G2期、G1期) ③細胞周期の調節 ④分裂期 (M期) ・体細胞分裂～染色体の構造、娘細胞への染色体 (遺伝子) の分配～ ・減数分裂～生殖細胞の形成、配偶子の形成～	佐藤久美子
	第6～7回 受精、発生、分化 ①無性生殖と有性生殖 ②受精 ③発生と分化のしくみ 卵割と胞胚形成、遺伝子の働き ④胚葉形成 (中期胞胚変 (遷) 移と母性胚性変 (遷) 移) ⑤器官形成 ⑥形態形成とアポトーシス	佐藤久美子
	第8回 ヒトの染色体と遺伝子、メンデルの法則と形質の遺伝 ①ヒトの染色体と遺伝子 ②メンデルの法則と形質の遺伝 ③A B O血液型の遺伝 ④家系図の書き方 ⑤遺伝病の原因———遺伝子変異	佐藤久美子
科目の目的	高等学校「生物基礎」履修済みを前提に、医療系専門職の専門課程の学習を理解するために必要な生命現象の基礎知識を深めることを目的とする。特に基礎生物学では生体を構成する基本単位である細胞について、その構造と機能、細胞の増殖と生殖細胞の形成などを学び、さらに生命の連続性を担保する受精、発生、形質の遺伝について知識を深めることを目的とする。【知識・理解・思考】	
到達目標	ヒトの生命活動の全体像を理解するために次の事項を理解し、説明できる力を身につける。 ①生命の起源からヒトへの進化、生命現象の特質について理解する。 ②細胞構成成分である水の重要性を理解し、タンパク質、糖、脂質、核酸、無機質について説明できる。 ③細胞の構造、細胞構成成分、細胞内小器官の働きや仕組みを理解する。 ④細胞の周期とその調節、体細胞分裂と減数分裂を図示して詳細に説明できる。 ⑤生殖、発生、分化のしくみ、形態形成とアポトーシスについて理解する。 ⑥ヒトの染色体と遺伝子、メンデルの法則とヒト正常形質の遺伝について説明できる。	
関連科目	基礎化学、解剖学 I、生理学 I、生化学	
成績評価方法・基準	定期試験の成績 (75%) 及び講義終了時に提出するリアクションペーパー (25%) により評価する。	

準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	各回ともシラバスの講義内容に一致する高等学校生物の教科書または補助教材を1時間程度復習しておくこと。特に、授業範囲の専門用語についてはわからないときには生物学事典（岩波書店、東京化学同人社など）で調べ、理解しておくこと。
教科書・参考書	教科書：「人の生命科学」 佐々木史江、堀口 毅、岸 邦和、西川純雄（医歯薬出版株式会社） 参考書：1. 「Essential細胞生物学原書第4版」中村桂子、松原謙一 監訳（南工堂） 2. アメリカ版「大学生物学の教科書1巻～3巻」 D. サダヴァ他著 ブルーバックス（講談社） 3. 「基礎から学ぶ生物学・細胞生物学」 和田 勝（羊土社）
オフィス・アワー	授業終了後に教室で、または随時e-mailで質問を受ける。
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	生物学全般、特に生命活動を支えるエネルギーの産生や生物学分野の基礎研究が医療に活かされている現状、ヒトの遺伝などを理解するために、後期に開講される生物学を併せて履修することが望ましい。

講義科目名称： 生物学

授業コード： 2R018

英文科目名称： Biology

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
佐藤久美子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回・2回 生命活動とエネルギー ①酵素の性質と酵素反応 ②生命活動とエネルギー ・光合成：光エネルギーを利用して二酸化炭素から炭水化物を作り出す過程について ・人工光合成研究開発の現状と未来計画 ・呼吸：生体のエネルギー産生とミトコンドリアの役割（解糖系からTCA回路、電子伝達系によるエネルギーの産生）について ・外呼吸と内呼吸の関係 ・動物と植物のエネルギー連関～光合成と呼吸～</p> <p>第3回・4回 遺伝ーヒトを中心にーその1 ①DNA複製のしくみ ②DNAの変異と修復 ③遺伝情報発現のしくみ ④原核生物と真核生物における遺伝情報発現コントロール ⑤性染色体の不活性化 ⑥エピジェネティクス</p> <p>第5回・6回 遺伝ーヒトを中心にーその2 ①単一形質（メンデル形質）で発現する遺伝病 ・常染色体性優性遺伝病、劣性遺伝病と伴性遺伝病 ・保因者、患者の出現頻度ーハーディーワインベルグの法則の有用性ー ②多因子遺伝病 ③染色体異常 ④ミトコンドリア病 ⑤体細胞遺伝病</p> <p>第6回・7回 ヒトの受精と初期発生 ①ヒトの配偶子形成：減数分裂と遺伝子の組み換え、精子と卵子の形成 ②受精：精子の先体反応、受精と多精拒否の機構 ③胚盤胞の形成と着床 ・始原生殖細胞の形成 ・内細胞塊の分化と胚葉の形成 ⑤胚葉の分化 ⑥前胚子期と胚子期 ⑦発生をつかさどる遺伝子 ⑧先天異常発生の要因</p> <p>第8回 細胞科学の先端研究と医療への応用 ①オミックス解析の現状と課題 ②細胞内タンパク質の再利用 ・ユビキチンプロテアソーム系 ・オートファジー ③iPS細胞 基礎研究と応用研究の進捗状況 ④細胞周期調節のしくみとがん化 ⑤細胞分裂の限界と老化</p>	<p>佐藤久美子</p> <p>佐藤久美子</p> <p>佐藤久美子</p> <p>佐藤久美子</p> <p>佐藤久美子</p>
科目の目的	高等学校「生物基礎」履修済みを前提に、保健医療の専門職として、先進・高度化しつつある専門領域の学習を理解するために必要な生命科学の基礎知識を深めることを目的とする。本講義では、基礎生物学で学んだ知識をベースに、生命活動を支えるエネルギー獲得、真核細胞のDNA複製や遺伝子の情報発現、情報発現の調節などを詳しく学ぶ。また、ヒトの遺伝病、先天異常及びヒトの初期発生について学ぶ。さらに医療分野に直接関連する基礎生物学分野の研究進捗状況について理解する。【知識・理解・思考】	
到達目標	基礎生物学の学習内容を基礎として次の事項を理解し、説明できる力を身につける。 ①光合成によるエネルギー獲得の詳細と呼吸による生命活動のエネルギー産生について詳細に説明できる。 ②真核細胞におけるDNAの複製、遺伝情報発現、情報発現コントロール、DNAの変異などについて知識を深める。 ③ヒトのメンデル様式による遺伝病およびそれ以外の要因による遺伝病について学び、説明できる。 ④ヒトの受精、発生初期における細胞分裂の詳細と形態形成及び先天異常発生の要因について学び、説明できる。 ⑤細胞科学の先端基礎研究と医療分野との関連について理解し、説明できる力を身につける。	
関連科目	基礎生物学、化学、解剖学Ⅰ、生理学Ⅰ、生化学	

成績評価方法・基準	定期試験の成績（75%）及び講義終了時に提出するリアクションペーパー（25%）により評価する。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各回ともシラバスの講義内容に一致する高等学校生物の教科書または補助教材を1時間程度復習しておくこと。特に、授業範囲の専門用語についてわからないときには生物学事典（岩波書店、東京化学同人社など）で調べ、理解しておくこと。
教科書・参考書	教科書：「人の生命科学」 佐々木史江、堀口 毅、岸 邦和、西川純雄（医歯薬出版株式会社） 参考書：1. 「Essential細胞生物学原書第4版」中村桂子、松原謙一 監訳（南工堂） 2. アメリカ版 大学生物学の教科書1巻～3巻」 D. サダヴァ他著 ブルー-ボックス（講談社） 3. 「基礎から学ぶ生物学・細胞生物学」 和田 勝（羊土社）
オフィス・アワー	授業終了後に教室で、または随時e-mailで質問を受ける
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	基礎生物学を履修していることが望ましい。

講義科目名称： 基礎数学

授業コード： 2R019

英文科目名称： Mathematics

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
今尾 仁			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 数と式の計算（整数・分数・小数） 第2回 数と式の計算（因数分解） 第3回 数と式の計算（平方根） 第4回 数と式の計算（分数展開） 第5回 関数とグラフ（直線） 第6回 関数とグラフ（放物線） 第7回 関数とグラフ（不等式） 第8回 演習	
科目の目的	高校までの数学を復習し，診療放射線技師教育に必要な数学の基礎を固める【知識・理解・思考】	
到達目標	科学に必要とする基本的な数学概念を習得する	
関連科目	数学，物理学，放射線物理学，放射線計測学，医療電気・電子工学	
成績評価方法・基準	筆記試験（100%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	参考書の相当箇所を利用した講義の復習，演習問題など1時間程度	
教科書・参考書	参考書：大学新入生のための数学入門（共立出版）石村園子，放射線技師のための数学（東洋書店）福田寛	
オフィス・アワー	随時	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 数学

授業コード： 2R020

英文科目名称： Basic Statistics

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
今尾 仁			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 三角関数 第2回 指数関数 第3回 対数関数 第4回 微分・積分1 第5回 微分・積分2 第6回 微分・積分3 第7回 微分・積分4 第8回 演習	
科目の目的	高校までの数学を復習し、診療放射線技師教育に必要な数学の基礎を固める【知識・理解・思考】	
到達目標	診療放射線技師教育に必要とする数学を習得する	
関連科目	基礎数学，物理学，放射線物理学，放射線計測学，医療電気・電子工学	
成績評価方法・基準	筆記試験（100%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	参考書の相当箇所を利用した講義の復習，演習問題など1時間程度	
教科書・参考書	参考書：大学新入生のための数学入門（共立出版）石村園子，放射線技師のための数学（東洋書店）福田寛	
オフィス・アワー	随時	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 基礎物理学

授業コード： 2R023

英文科目名称： Basic Physics

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
山崎 真			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 物理量の次元と単位 補助単位、組立単位、同次元の単位の変換。	山崎真
	第2回 静止系 力の釣り合い、モーメントの釣り合い、バネの力	山崎真
	第3回 運動 瞬間の速度、加速度。等速直線運動、等加速度運動。	山崎真
	第4回 運動方程式 1 力学の問題の標準的な手続き。	山崎真
	第5回 運動方程式 2 坂道、バネなどの典型問題。	山崎真
	第6回 仕事とエネルギー 位置エネルギー、運動エネルギー、弾性エネルギー。エネルギー保存則。	山崎真
	第7回 円運動 等速円運動。	山崎真
	第8回 バネと単振動 単振動	山崎真
科目の目的	高等学校で物理を履修していない学生を想定し、物理の基礎を身につける。 高校物理を履修済みの学生にとっても新たな発見があるよう、別の視点の紹介も行う。 【知識・理解・思考】	
到達目標	物理学の基礎的な概念を知り、標準的なアプローチを身につけ、物理現象を定量的・定性的に取り扱えるようになる。 分野は概ね初等力学。	
関連科目	物理学	
成績評価方法・基準	定期試験（90%）、講義内レポート（10%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	高校物理教科書や参考書を読んでから講義に臨めばより効果的だが、受講生には予習よりも講義の復習を期待する。前回分の演習問題を解いておくこと。 30分～1時間程度(定期試験前の復習は別)	
教科書・参考書	参考書：講義中に指示する。	
オフィス・アワー	随時。	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	特になし	

講義科目名称： 物理学

授業コード： 2R024

英文科目名称： Physics

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
山崎 真			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 熱現象 1 熱と温度、比熱	山崎真
	第2回 熱現象 2 気体の状態方程式、仕事と熱	山崎真
	第3回 熱現象 3 気体分子運動論	山崎真
	第4回 波動 1 回折、屈折、波の式	山崎真
	第5回 波動 2 干渉、ドップラー効果	山崎真
	第6回 電気基礎 1 抵抗回路の基礎、電位の概念	山崎真
	第7回 電気基礎 2 キルヒホッフの法則、電力	山崎真
	第8回 電磁波・放射線 電磁波と各種核崩壊	山崎真
科目の目的	高等学校で物理を履修していない学生を想定し、物理の基礎を身につける。 基礎物理学に続き熱と波動、電気の基礎を学ぶ。【知識・理解・思考】	
到達目標	物理学の基礎的な概念を知り、標準的なアプローチを身につけ、物理現象を定量的・定性的に取り扱えるようになる。	
関連科目	基礎物理学	
成績評価方法・基準	定期試験（90%），講義内レポート（10%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	高校物理教科書や参考書を読んでから講義に臨めばより効果的だが、受講生には予習よりも講義の復習を期待する。前回分の演習問題を解いておくこと。 30分～1時間程度(定期試験前の復習は別)	
教科書・参考書	参考書：講義中に指示する。	
オフィス・アワー	随時	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	基礎物理学も履修しておくことを強く勧める。	

講義科目名称： 英語リーディング

授業コード： 2R025

英文科目名称： General English Reading

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
杉田 雅子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 Introduction、Self Introduction 授業の説明、自己紹介 (課題) 英語で自己紹介をしてみる。	杉田雅子
	第2回 Lesson 1 Communication communicationの持つ力についての英文読解。課題のフィードバック。	杉田雅子
	第3回 Lesson1 Communication communicationの持つ力についての英文読解。Grammar for ommunicationのLet's Try (Lesson 1)	杉田雅子
	第4回 Lesson 3 Health 病気を引き起こす微生物発見の歴史についての英文読解。	杉田雅子
	第5回 Lesson 3 Health 病気を引き起こす微生物発見の歴史についての英文読解。Grammar for CommunicationのLet's Try (Lesson 3)	杉田雅子
	第6回 Lesson 4 Environment 絶滅種、絶滅危惧種についての英文読解。	杉田雅子
	第7回 Lesson 4 Environment 絶滅種、絶滅危惧種についての英文読解。Grammar for CommunicationのLet's Try (Lesson 4) (課題) 私の好きな事、もの	杉田雅子
	第8回 Lesson 5 Fashion 日本の着物の歴史についての英文読解。課題のフィードバック	杉田雅子
	第9回 Lesson 5 Fashion 日本の着物の歴史についての英文読解。Grammar for CommunicationのLet's Try (Lesson 5)	杉田雅子
	第10回 Lesson 10 Steve Jobs Steve Jobsの生涯に関する英文読解。Jobsのメッセージを読み取る。	杉田雅子
	第11回 Lesson 10 Steve Jobs Steve Jobsの生涯に関する英文読解。Grammar for CommunicationのLet's Try (Lesson 10)	杉田雅子
	第12回 Lesson 11 Volunteer Work ボランティア活動の意義に関する英文読解。	杉田雅子
	第13回 Lesson 11 Volunteer Work ボランティア活動の意義に関する英文読解。Grammar for Communication のLet's Try (Lesson 11) (課題) スマートフォンの利点・欠点	杉田雅子
	第14回 Lesson 14 Culture カルチャーショックに関する英文読解。 課題のフィードバック	杉田雅子
	第15回 Lesson 15 An International World 留学を通して得られたものについての会話練習、英文読解。	杉田雅子
科目の目的	専門分野の英語に取り組むための基礎力、特にリーディング力、リスニング力を養成する。英語を学ぶことを通じて、将来の医療人として人間や社会に対する興味・関心の幅を広げ、関心・興味を持った事柄に関して調べ、自分の考え・意見を持ち、それらを表現する。【コミュニケーション・協調】	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストや各自の力と興味に合わせた本を読むことを通じて、多くの英文に接し、構文を正しく理解し、英文の内容を理解することができる。 ・テキストのトピックについて調べ、自分の考え・意見を持ち、グループやペアでの話し合いを通じて、他者の考え・意見も聞き、最終的に自分の考え・意見をまとめ、表現することができる。 ・テキスト教材の音声聞いて、単語や文章を聴き取り、発音することができる。 ・extensive readingの目標は10,000words。易しい英文を楽しみながら読むことができ、口語表現、日常生活での英語表現が理解できる。 	
関連科目	医療英語会話、医療英語リーディング、英語会話、英語アカデミックリーディング・ライティング	
成績評価方法・基準	定期試験 (60%) 課題(30%) extensive reading(10%)	

準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	予習：次回に学習する範囲の英文を読んで、わからない単語は辞書で調べ、英文の大まかな内容をつかむ。どこがわからないのかを明確にする。exercise等もあらかじめやっておく。 復習：その日に学習したことを整理し、英文を理解する。課題を行う。予習復習合わせて約1時間。 extensive readingについては、目標達成に向けて、各自のペースで計画的に進める。
教科書・参考書	教科書：Journeys: Communication for the Future 阿野幸一ほか4名（朝日出版社）
オフィス・アワー	講義日の昼休み、研究室（4号館8階研究室26）
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	高校までの基本的英文法は理解しておいてください。辞書を授業に持ってくること。

講義科目名称： 医療英語会話

授業コード： 2R026

英文科目名称： Medical English Conversation

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
Heather McCulloch			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 Introduction/Icebreaking Introduction to the course, class format, expectations, syllabus, and grading scale, as well as personal introductions and commonly used phrases and questions for use in class.	Heather McCulloch
	第2回 Unit 1: Meeting patients	Heather McCulloch
	第3回 Quiz (short test) on Unit 1 + Unit 2: Taking a medical history	Heather McCulloch
	第4回 Quiz (short test) on Unit 2 + Unit 3: Assessing symptoms	Heather McCulloch
	第5回 Quiz (short test) on Unit 3 + Part I of Unit 4: Taking vital signs + Prepare for 1st Presentation	Heather McCulloch
	第6回 1st Presentation + Part II of Unit 4: Taking vital signs Presentations will consist of performing skits in pairs based on the model dialogs in Units 1-4.	Heather McCulloch
	第7回 Quiz (short test) on Unit 4 + Unit 5: Taking a specimen	Heather McCulloch
	第8回 Quiz (short test) on Unit 5 + Unit 6: Conducting a medical examination	Heather McCulloch
	第9回 Quiz (short test) on Unit 6 + Unit 7: Assessing pain	Heather McCulloch
	第10回 Quiz (short test) on Unit 7 + Part I of Unit 8: Advising about medication + Prepare for 2nd Presentation	Heather McCulloch
	第11回 2nd Presentation + Part II of Unit 8: Advising about medication Presentations will consist of performing skits in pairs based on the model dialogs in Units 5-8.	Heather McCulloch
	第12回 Quiz (short test) on Unit 8 + Unit 9: Improving Patients' mobility	Heather McCulloch
	第13回 Quiz (short test) on Unit 9 + Unit 10: Maintaining a good diet	Heather McCulloch
	第14回 Quiz (short test) on Unit 10 + Unit 11: Caring for inpatients	Heather McCulloch
	第15回 Unit 12: Coping with emergencies + Prepare for Final Presentation	Heather McCulloch
科目の目的	Medicine is undeniably a global field in which ideas are shared in the international language of English. This course will introduce students to helpful communication strategies and explore communicative skills in English that are of particular relevance to the field of medicine. 【コミュニケーション・協調】	
到達目標	Students will be able to: 1) handle a wide variety of medical situations using English, 2) understand and actively use accepted terminology and phraseology to explain and discuss major medical topics, and 3) build a foundation in medical English upon which to further their studies toward becoming professionals in their chosen field of medicine.	
関連科目	Related to all English courses	
成績評価方法・基準	1. In-class quizzes (short tests) (30%: 3% x 10 quizzes) These will cover material from the text and will be graded in class. 2. Two midterm presentations (done in pairs but graded individually) (40%: 1st=20%; 2nd=20%) Students will prepare and give presentations in pairs on relevant topics. 3. Final presentation (done in pairs but graded individually) (30%) Final presentation will consist of performing skits in pairs based on the model dialogs in Units 1-12.	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	Each week we will practice and review a chapter from the text. Please read the dialogs, understand key vocabulary, and be prepared to speak in class. Listening practice is also important. Please use the online resources to practice listening. Each chapter will	

	require about 30-60 minutes on your own to review and study. In addition, you will need about 6 hours during the semester to prepare for presentations.
教科書・参考書	教科書 : Caring For People
オフィス・アワー	Visits can be made by an appointment
国家試験出題基準	無し
履修条件・履修上の注意	Be prepared to speak in class individually, in pairs, and in small groups. Review the vocabulary and grammar from the text in order to use it in class. This syllabus is subject to change.

講義科目名称： 医療英語リーディング

授業コード： 2R027

英文科目名称： Medical English Reading

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
杉田 雅子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 英語会話

授業コード： 2R028

英文科目名称： General English Conversation

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
David Andrews			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 英語アカデミックリーディング・ライティング 授業コード：

英文科目名称： Academic Reading and Writing in English

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
杉田 雅子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 中国語

授業コード： 2R030

英文科目名称： Chinese

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
深町 悦子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 ガイダンス、中国語とは？ 発音、漢字、声調	深町 悦子
	第2回 中国語の発音のきまり 単母音、複合母音、声調	深町 悦子
	第3回 子音の発音と音節 母音、子音、音節表の読み方	深町 悦子
	第4回 発音のまとめ 自分の名前を中国語で読む練習	深町 悦子
	第5回 第1課の学習 第1課 [私は日本人です] 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第6回 第1課の復習と第2課の学習 第2課 [これは中国語の教科書です] 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第7回 第2課の復習と第3課の学習 第3課 [マクドナルドに行きましょう] 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第8回 発音の総合復習と第1課から第3課までの復習 中間レポート提出	深町 悦子
	第9回 第3課の復習と第4課の学習 第4課 [明日の天気はあまりよくない] 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第10回 第4課の復習と第5課の学習 第5課 [私は今年18歳です] 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第11回 第5課の復習と第6課の学習 第6課 [食堂は図書館のむかいにあります] 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第12回 第6課の復習と第7課の学習 第7課 [私は11時に寝ます] 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第13回 第7課の復習と第8課の学習 第8課 [私は中日辞典を1冊買いに行きたい] 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第14回 第8課の復習と第9課の学習 第9課 [私は本屋でアルバイトをしています] 文法 単語 本文 置換練習 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第15回 第1課から第9課までの復習 総合復習	深町 悦子
科目の目的	現代のグローバル化の社会の中で、一国際人として、多言語ができる人材を育成する。【コミュニケーション・協調】	
到達目標	日常生活及び仕事の中で、簡単な会話ができること。	
関連科目	特になし	
成績評価方法・基準	期末に筆記試験を行う。基準は筆記試験が80%、授業内にレポート及び感想文の提出が20%。提出されたレポートについては次回授業内でフィードバックを行う。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業前の予習と授業後の復習をすること。1時限ごとに30分ぐらい必要である。発音の練習は必ずしっかりする事、特に四声については、音声ファイルを聞きながら発声して覚えるように。	

教科書・参考書	教科書：グッと入門中国語（金星堂） 参考書：なし
オフィス・アワー	講義の前後
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	教科書の購入が必要である

講義科目名称： コリア語

授業コード： 2R031

英文科目名称： Korean

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
青木 順			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 ハングルの読み方 基本母音 朝鮮半島、ソウル市などを簡単に紹介し、ハングルの由来、構造を簡単に説明。 基本母音10個の読み方、基本母音を含んだ単語、挨拶言葉等を学習する。	青木 順
	第2回 ハングルの読み方 基本子音 基本子音4個の読み方、その基本子音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。 文化として伝統料理を紹介する。	青木 順
	第3回 ハングルの読み方 基本子音 基本子音4個の読み方、その基本子音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。	青木 順
	第4回 ハングルの読み方 激音（濃音と比較しながら） 濃音と比較しながら激音5個の読み方、激音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。 文化として伝統茶を紹介する。	青木 順
	第5回 ハングルの読み方 濃音（激音と比較しながら） 激音と比較しながら濃音5個の読み方、濃音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。	青木 順
	第6回 合成母音 合成母音11個の読み方、合成母音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。	青木 順
	第7回 ハングルの読み方 パッチム パッチムの読み方、パッチムを含んだ単語、挨拶言葉を学習する。 文化として食事のマナー、1歳の誕生日を紹介する。	青木 順
	第8回 「私は青木順です」① サンパッチム、連音の説明、練習を行う。	青木 順
	第9回 「私は青木順です」② 「は」「です」「～と申します」という文法の学習、関連会話文の読み、訳を行う。 文化として伝統家屋、伝統舞踊を紹介する。	青木 順
	第10回 「私は青木順です」のまとめと「何人家族ですか？」① 韓国語での自己紹介を一人一人行う。 関連単語、「ます」「ますか」等の文法の学習と練習を行う。 文化として伝統的結婚式、楽器等を紹介する。	青木 順
	第11回 「何人家族ですか」② 「お～になります」「が」「と」などの文法の学習と練習を行う。	青木 順
	第12回 「何人家族ですか」③ 固有数字、関連会話文の読み、訳、会話練習等を行う。 文化として伝統遊びを紹介する。	青木 順
	第13回 「すみません」① 関連単語、「～してください」、意志を含んだ「ます」等の文法の学習と練習を行う。	青木 順
	第14回 「すみません」② 「いる（いない）」「ある（ない）」の説明と練習。 固有数字を使う助数詞、関連会話文の読み、訳を行う。 文化として伝統刺繍を紹介する。	青木 順
	第15回 「すみません」③とまとめ 会話練習、文法のまとめ、試験問題の説明を行う。	青木 順
科目の目的	基礎的なコリア語を学ぶと同時に、韓国社会や文化への理解も深める。【コミュニケーション・協調】	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ハングル文字を正確に読み書きできるようになる。 ・正確な発音をマスターする。 ・挨拶をはじめ、簡単な日常会話を身につける。 	
関連科目	特になし。	
成績評価方法・基準	課題への取り組み（40%）・期末テスト（60%）	

準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	授業で学習した内容はその都度復習しておくこと。 外国語の学習は反復・継続することが何より大切なので、毎日10分でもよいので、積極的に取り組むこと。
教科書・参考書	講師作成教材使用予定(コピー)
オフィス・アワー	コリア語の授業のある日12:30~12:50非常勤教員室
国家試験出題基準	特になし。
履修条件・履修上の 注意	講師作成の教材を使用する。 配布期間：前回の授業翌日から当該日まで。 持参方法：各自印刷して授業に持参すること（課題も含まれているため、印刷必須）。

講義科目名称： ポルトガル語

授業コード： 2R033

英文科目名称： Portuguese

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
Hilda Harumi Handa			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 Introduction / Apresentacao Explaining how the class will be given, and grades / Explicar como serao as aulas e as notas. Introduction / Apresentacao Explaining how the class will be given, and grades / Explicar como serao as aulas e as notas.</p> <p>第2回 Brazil and the other nine countries that speak Portuguese / Brasil e os outros nove paises que falam português. A brief lecture about Brazil and nine other countries whose official language is Portuguese</p> <p>第3回 Greetings and Pronouns Greetings / Cumprimentos/Apresentacao Possessive adjectives/pronouns / Pronomes possessivos Saying hello and goodbye / Encontrar-se/despedir-se</p> <p>第4回 Alphabet and pronunciation / Alfabeto e pronuncia Syllables / Formacao das silabas Introduction to Portuguese Alphabet</p> <p>第5回 Stress / Acentuacao Stress rules Oxitonas/paroxitonas/proparoxitonas Rules for stressing.</p> <p>第6回 Nouns / Substantivos Adjectives / Adjetivos We'll talk about kinds of nouns and adjectives.</p> <p>第7回 Articles / Artigos definidos/indefinidos Prepositions / Preposicoes Verbs / Verbos Adverbs / Adverbios Nouns / Substantivos Adjectives / Adjetivos Learning about articles, prepositions, verbs, and adverbs.</p> <p>第8回 Conjunctions / Conjuncoes Time / Horas Seasons/Weather / Estacoes/climas Class about conjunctions, and how to talk about time and the weather.</p> <p>第9回 Cardinal/ordinal numbers / Numeros Cardinais/ordinais Phone / Telefone Email All about numbers.</p> <p>第10回 Subject pronoun / Pronomes Pessoais Verb Be I / Verbos ser e estar I More pronouns and the verb Be, that means more than one verb in Portuguese.</p> <p>第11回 Verb Be II / Verbos Ser e estar II Continuing with the verb Be.</p> <p>第12回 Family / Familia Week/month/year / Semana/meses/ano Colors / Cores Light class about family, dates, and colors.</p> <p>第13回 Human Body / Corpo Humano Clothing / Roupas Special class about the human body.</p> <p>第14回 Food & Culture / Gastronomia e cultura Let's learn about Brazilian food, and maybe taste some of it.</p> <p>第15回 Exam Let's see how much you learned from the previous classes.</p>	
科目の目的	<p>ポルトガル語は主にブラジルで話される言語で、1万人以上のブラジル系住民が生活する群馬県内でも接する機会が多い言語です。群馬県内(特に東毛地区)において地域に関わる仕事(例えば、公務員や教員、医療関係など)を希望している学生にはポルトガル語の習得をお薦めします。</p> <p>また、ポルトガル語はブラジル以外の国々でも公用語とされているところがあり、国際的に活動したいという際にも役立てることができます。</p> <p>ポルトガル語は英語に近い構造のヨーロッパ言語で、英文法や語彙の知識が応用できる項目もあり、一方で英語の理解にも役立ちます。</p> <p>本授業の目標はポルトガル語の入門にとどまりますが、初級、中級へと学習を進めるためのきっかけとなると同時に、「英語以外のヨーロッパ言語」に関心を持っていただくこと、加えて可能な限り、ブラジルを中心としたポルトガル語圏の文化についても授業内で紹介し、ポルトガル語に関わる事柄の知見を広めることも目指します。【コミュニケーション・協調】</p>	

到達目標	<p>本授業では欧州言語共通参照枠(CEFR)のA1レベルを習熟目標とし、ポルトガル語の基本中の基本となる以下の基礎文法と基礎的なコミュニケーション表現を習得することを目指します。</p> <p>(1)ポルトガル語を読める (2)名詞や形容詞の性数の考え方が理解できる (3)挨拶など基礎的な表現ができる (4)基礎的な語彙を使うことができる (5)動詞の活用ができる</p> <p>これらに加え、とりわけブラジル人との日常的なコミュニケーションに関わる文化の知識(食文化、交通など)を身につけることも目標とします。</p>
関連科目	特になし
成績評価方法・基準	50% from final exam, and 40% participation (not attendance) in class, 10% assignments.
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	No special knowledge is required for it's a class for beginners. However, students should prepare by reviewing the handouts from the previous class and reading the newspapers or magazines mentioned in class. Students are advised to study about 2-3 hours per week in preparation for each 90-minute lesson.
教科書・参考書	Teacher will provide handouts. Students will be encouraged to read some books, newspapers or magazines, that will be mentioned during class.
オフィス・アワー	Students can communicate through email that will be provided on the first class.
国家試験出題基準	特になし
履修条件・履修上の注意	<p>5回以上の欠席がある場合は期末試験を受けられません。 また、特別な事情がない場合の30分以上の遅刻は欠席と見なします。 就職活動や特別な事情による欠席は考慮いたします。</p> <p>大学生として相応な英語力と意欲、情熱があることが望ましいです。</p>

講義科目名称： 情報処理

授業コード： 2R034

英文科目名称： Information Processing

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
星野 修平	谷口 杏奈		

授業形態	演習	担当者	
授業計画	第1回	本講義の概要と授業準備 本講義の概要とパーソナルコンピュータの利用について	星野 修平
	第2回	情報社会とビジネス 情報社会で求められる、プライバシー、個人情報、ユビキタス、IoT、Web2.0、人工知能などの基礎的な概念について学ぶ。	星野 修平
	第3回	コンピュータネットワーク コンピュータネットワークについて、ネットワークの形態、構成、インターネットの仕組み、プロトコル、ネットワークセキュリティ、暗号化などの基礎的な概念について学ぶ	星野 修平
	第4回	コンピュータシステム（ハードウェア） コンピュータの歴史、種類、機能、構成要素、記憶装置、演算装置などの基礎的な概念について学び、コンピュータの仕組みについて理解する。	星野 修平
	第5回	コンピュータの動作原理 演算処理の原理、論理素子の歴史・動作原理、論理回路についてその基礎的な概念について学ぶ。 また、論理回路、基数、2進数などのコンピュータの内部で行われる情報処理、演算の基本的な概念について学ぶ。	星野 修平
	第6回	情報量 デジタルとアナログの基礎的な概念を学び、情報量について理解する。またコンピュータで利用される文字、音声、画像、動画などの情報量を理解する。	星野 修平
	第7回	ソフトウェア コンピュータの基本システムであるオペレーティングシステム（OS）の基本的概念について学ぶ。また、プログラムの内部動作やプログラミングについて理解し、データベースとその理論について学ぶ。	星野 修平
	第8回	人工知能のアルゴリズム 注目される人工知能の基本的概念について理解する。また、教師あり学習、教師なし学習、深層学習などの「学習」について学ぶ。	星野 修平
	第9回	メディアリテラシー 様々なメディアとメディアリテラシーについて、基礎的な概念を理解する。また、メールによるコミュニケーション、ソーシャルネットワークサービス（SNS）の特徴と注意点について学ぶ。	星野 修平
	第10回	ビジネス文書の基礎（MS-Wordによる文章作成）と演習1 アプリケーションソフトウェア、ワープロ（MS-Word）による文章作成を演習を通して学ぶ。	谷口 杏奈
	第11回	ビジネス文書の基礎（MS-Wordによる文章作成）と演習2 アプリケーションソフトウェア、ワープロ（MS-Word）による文章作成を演習を通して学ぶ。	谷口 杏奈
	第12回	データ処理の基礎（MS-Excelによるデータ処理）と演習1 スプレッドシートによるデータ処理の基本的概念を理解する。またグラフ作成、数式処理、帳票処理を演習を通して学ぶ。	谷口 杏奈
	第13回	データ処理の基礎（MS-Excelによるデータ処理）と演習1 スプレッドシートによるデータ処理の基本的概念を理解する。またデータ処理、集計、統計処理の基本を演習を通して学ぶ。	谷口 杏奈
	第14回	プレゼンテーションの基礎（PowerPointによるスライド作成）と演習1 プレゼンテーションの基本的概念を理解する。また演習を通して作成方法について学ぶ。	谷口 杏奈
	第15回	プレゼンテーションの基礎（PowerPointによるスライド作成）と演習2 プレゼンテーションの実践として、画面表示、画面構成、アニメーション、スライドショーなどを演習を通して学ぶ。	谷口 杏奈

科目の目的	現代社会には情報があふれており、私たちは様々なメディアから情報を取得し活用する。情報活用や情報操作を行うスキルを身につけるため、コンピュータやコンピュータネットワークの基本的概念と構成、仕組みを理解し、情報社会における情報の意味を理解することが求められる。本科目では大学での学び(学習と研究や臨床実践)をより充実させるため、パーソナルコンピュータやマルチメディアの基本的な操作を学ぶ。具体的には、Wordを使用した文書作成・編集の基本技術、Excelの基本、計算機能、ビジュアルな文書作成、インターネットの活用、ワークシートの活用などについて学び、合計、平均の計算、関数の活用、最大・最小、グラフ作成、データベースの基本事項、データのソート、検索、集計、Power Point、プレゼンテーションなどについての演習を行う。 【実践・探究・研究】
到達目標	情報社会におけるコンピュータやインターネットの仕組み理解し、情報の活用、意味、伝達の意義について学習する。 個別目標： 1. 情報の基本的概念について説明できる。 2. コンピュータとコンピュータネットワークの仕組みについて説明できる。 3. ワードプロセッサ、スプレッドシート、プレゼンテーション・アプリケーションを用いて情報表現、情報操作が行える。
関連科目	情報リテラシー、データサイエンス入門、医療画像情報学Ⅰ、医療画像情報学Ⅱ、放射線情報システム学、医療画像情報学演習
成績評価方法・基準	演習課題 (50%) 定期試験 (50%)
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業 (90分)、事前自己学習 (60分)、関連項目の事後学習 (60分)
教科書・参考書	教科書：入門 情報処理 ―データサイエンス、AIを学ぶための基礎― 寺沢 幹雄・福田 收 著 オーム社 2022
オフィス・アワー	授業の前後、昼休み、4号館7階研究室 事前にE-mail にて予約 (s-hoshino@paz. ac. jp)
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	放射線学科・臨床工学科の合同開講となります。 クラス分けは、初回までに掲示版にて連絡いたします。 MS-Office (MS-Word, MS-Excel, MS-PowerPoint) ウェブブラウザをインストールしたPC (WindowsPC、Mac等) を持参してください。

講義科目名称： 大学の学び入門

授業コード： 2R037

英文科目名称： Introduction to College Learning

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
杉田 雅子	星野修平	鎌田 依里	峯村優一

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 科目の説明、大学生の学習・生活、アカデミック・スキルとスチューデント・スキル 科目の目的・目標・進め方の説明、 高校生までの学習・生活と大学生の学習・生活の違い、アカデミック・スキル、スチューデント・スキルとは	杉田雅子
	第2回 調べる 情報を探す、情報の宝庫図書館の使い方	杉田雅子
	第3回 インターネットリテラシー1 インターネット利用のルールとマナー (1)	星野修平
	第4回 インターネットリテラシー2 インターネット利用のルールとマナー (2)	星野修平
	第5回 聞く・ノートを取る・読む1 講義の聞き方、ノートの取り方、本や資料の読み方(1)	杉田雅子
	第6回 読む2・考える 本や資料の読み方(2)、考える力をつけるには	杉田雅子
	第7回 書く：レポートの書き方1 レポートとは何か、レポート作成の手順、よいレポートとは	峯村優一
	第8回 書く：レポートの書き方2 論文作法	峯村優一
	第9回 書く：レポートの書き方3 講義レポートの形式	峯村優一
	第10回 自分自身の課題を見つける 入学以来の自身の学習と生活を検証し、学習、生活両面の自己課題を見出す	杉田雅子
	第11回 相手の話を聴く ロールプレイを通して基本的なカウンセリングの技法を体験する	鎌田依里
	第12回 自分の気持ちや考えを伝える グループワークを通し、自分の感情や意思をわかり易く伝える練習をする	鎌田依里
	第13回 協力して作業する これまでのワークを通して身につけたスキルを活用し、周囲と協力して課題を達成する	鎌田依里
	第14回 アカデミック・スキルの実践 (1) 聞く・考えることの実践 ゲストスピーカー：樋口建介理事長	杉田雅子
	第15回 アカデミック・スキルの実践 (2) 聞く・考えることの実践 ゲストスピーカー：栗田昌裕学長、國元文生群馬パース病院長	杉田雅子
科目の目的	大学での学習形態や学問に対する姿勢、大人としての生活態度を認識、理解し、高校生までの学習・生活から大学生の学習・生活に移行することができるように、基本的なスキル、姿勢を学ぶ。 1. 与えられた知識や技術を身に付けていく高校までの学習から、自ら課題を見つけ、それを解決していく大学の学習のためのスキルの習得、姿勢の理解 2. 高校までの大人に守られた生活から、責任ある大人としての生活のためのスキルと姿勢の理解。 【感心・意欲・活動】	
到達目標	1. 大学での学習に必要な学習習慣・学習技術（アカデミック・スキル、情報処理に関するスキル、ルール、マナー）を理解し、授業やレポートで実践できる。 2. 責任ある大人としての生活に必要な、基本的な生活習慣を身につけ、大学生活で実践できる。（スチューデント・スキル、コミュニケーションスキル）	
関連科目	全科目	
成績評価方法・基準	杉田担当課題（10%、課題に対するフィードバックは次回の授業で行う）、星野担当課題（20%、課題に対するフィードバックはAAにて掲示を行う）、鎌田担当意見文・感想文（30%、意見文・感想文の内容に対するフィードバックは次回の講義の冒頭に行う）峯村担当小テスト（40%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	前回授業の重要事項を見直しておくこと。約45分間。	
教科書・参考書	なし。プリントを使用。	
オフィス・アワー	杉田：授業の前後、昼休み、4号館8階26研究室 星野：授業の前後、昼休み、4号館7階研究室	

	峯村：授業の前後、昼休み、4号館8階研究室 鎌田：授業の前後、月・火・水・金の昼休み、4号館8階研究室
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	講義資料はActive Academy上で配布しますので、各自プリントアウトして授業に持ってきてください。配布期間は授業の前後1週間。

第7回	<p>診療放射線技師が働く職場（1）</p> <p>0. 前回の振り返り</p> <p>1. 講義 ・診療放射線技師の仕事（テキストAIV） （大学病院・総合病院・小規模病院・診療所での仕事） ・ゲストスピーカーによる講義</p> <p>2. フリートーク（C1）【診療放射線技師が働く職場（1）】について</p> <p>3. グループディスカッション</p> <p>4. レポート課題</p>	星野・加藤・岩井・齋藤・谷口
第8回	<p>診療放射線技師が働く職場（2）</p> <p>0. 前回の振り返り</p> <p>1. 講義 ・診療放射線技師の仕事（テキストIV） （放射線機器メーカー、研究所での仕事） ・ゲストスピーカーによる講義</p> <p>2. フリートーク（C2）【診療放射線技師が働く職場（2）】について</p> <p>3. グループディスカッション</p> <p>4. レポート課題</p>	星野・加藤・岩井・齋藤・谷口
第9回	<p>診療放射線技師の仕事と働く職場（グループワーク）（1）</p> <p>0. 前回の振り返り</p> <p>1. グループワーク（GW）の進め方</p> <p>2. 講義「プレゼンテーションの方法」</p> <p>3. グループワーク（GW） ・発表の準備 プレゼンテーションの作成</p> <p>4. レポート課題</p>	星野・加藤・岩井・齋藤・谷口
第10回	<p>診療放射線技師の仕事と働く職場（グループワーク）（2）</p> <p>0. 前回の振り返り</p> <p>1. グループワーク（GW） ・発表の準備 プレゼンテーションの作成</p> <p>2. レポート課題</p>	星野・加藤・岩井・齋藤・谷口
第11回	<p>診療放射線技師の仕事と働く職場（プレゼンテーション）（1）</p> <p>0. 前回の振り返り</p> <p>1. 成果の発表 ・グループディスカッションの発表 グループ（1）から（5）の順に、第1回から第8回のディスカッションの内容を発表する。</p> <p>2. 総評1</p> <p>3. レポート課題</p> <p>4. プレゼンテーション評価</p>	星野・加藤・岩井・齋藤・谷口
第12回	<p>診療放射線技師の仕事と働く職場（プレゼンテーション）（2）</p> <p>0. 前回の振り返り</p> <p>1. 成果の発表 ・グループディスカッションの発表 グループ（6）から（10）の順に、第1回から第8回のディスカッションの内容を発表する。</p> <p>2. 総評2</p> <p>3. レポート課題</p> <p>4. プレゼンテーション評価</p>	星野・加藤・岩井・齋藤・谷口
第13回	<p>専門職として診療放射線技師の医療コミュニケーション（1）</p> <p>0. 前回の振り返り</p> <p>1. 講義 ・「放射線技師に必要な医療安全とは」テキストV ・ゲストスピーカーによる講義</p> <p>2. フリートーク（D1）「診療放射線機器の安全管理」について</p> <p>3. グループディスカッション</p> <p>4. レポート課題</p>	星野・加藤・岩井・齋藤・谷口
第14回	<p>専門職として診療放射線技師の医療コミュニケーション（2）</p> <p>0. 前回の振り返り</p> <p>1. 講義 ・「放射線技師に求められる必要な接遇とは」テキストVI ・ゲストスピーカーによる講義</p> <p>2. フリートーク（D2）【診療放射線技師に求められるマナー・エチケット】とは</p> <p>3. グループディスカッション</p> <p>4. レポート課題</p>	星野・加藤・岩井・齋藤・谷口

	<p>第15回 専門職として診療放射線技師の医療コミュニケーション (3)</p> <p>0. 前回の振り返り</p> <p>1. 講義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・診療放射線技師における組織とは (テキストⅦ) (放射線技師に求められる共働とチーム医療) ・ゲストスピーカーによる講義 <p>2. フリートーク (D3) 【放射線技師に求められる共働とチーム医療】について</p> <p>3. グループディスカッション</p> <p>4. レポート課題</p>	<p>星野・加藤・岩井・齋藤・谷口</p>
科目の目的	<p>診療放射線学及び医療技術学における社会的役割、医療人としての心構え等を学び、学生自らの職業観や将来像を確立するするために、診療放射線学や医療コミュニケーションに関する講義、フリートーク、グループワークを通して、自らの診療放射線技師像を育み、専門基礎分野、専門分野の学習の学ぶ意義と医療における知識と理解を明確にする。また、生涯にわたり、専門分野を探究しその発展に貢献する意欲をもつこと。</p> <p>またグループ・ディスカッションを通して他者との共同作業を経験し、保健医療分野での諸課題を見出し、科学的な洞察による判断ができることを目的とする。【実践・探求・研究】</p>	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 診療放射線技師の職務内容と職域が説明できる。 2. 理診療放射線技師を目指す学生として必要な社会的な礼節およびコミュニケーションをもって行動できる。 3. 自らの診療放射線技師像を説明することができる。 4. 放射線学を学ぶことに興味を持ち、主体的・意欲的に学ぶ姿勢を示すことができる。 	
関連科目	<p>大学の学び入門 すべての専門基礎分野、専門分野の科目</p>	
成績評価方法・基準	<p>提出課題 (50%)、グループ・ディスカッション (GD)、グループワーク (GW)の活動状況 (20%)、発表点 (30%)の総合点による評価</p> <p>レポート課題の評価等は、希望者にはオフィスアワー時にお知らせします。なお、レポート提出をAAで行うため、レポート返却は行いません。</p>	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>事前の情報収集・学修 (60分)、事後学修とレポート作成 (60分)</p>	
教科書・参考書	<p>教科書:診療放射線技師プロフェッショナルガイド 東村享治 文光堂</p>	
オフィス・アワー	<p>各教員ともに、事前予約にて実施。</p> <p>単位認定者(s-hoshino@paz.ac.jp)事前にE-mailにて予約すること</p>	
国家試験出題基準	<p>3.1.1.A`C, 3.6.1`3</p>	
履修条件・履修上の注意	<p>グループディスカッション・グループワークでは、インターネットによる情報検索、プレゼンテーション資料作成を行うので、学内Wif iに接続可能なPCを持参すること。</p>	

講義科目名称： 多職種理解と連携

授業コード： 2R039

英文科目名称： Multidisciplinary Understanding and Cooperation

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
星野 修平			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 解剖学Ⅱ

授業コード： 2R041

英文科目名称： Anatomy II

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
浅見知市郎			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 消化器系 小腸（十二指腸 空腸・回腸） 大腸 肝臓 第2回 消化器系 呼吸器系 胆嚢 膵臓 鼻腔 副鼻腔 第3回 呼吸器系 咽頭 喉頭 気管 気管支 肺 第4回 泌尿器系 生殖器系 腎臓 尿管 膀胱 尿道 精巣・精巣上体 第5回 生殖器系 精管 精嚢と前立腺 陰茎 精液と精子 卵巣 卵管 子宮 胎盤 膣と外陰部 第6回 腹膜 内分泌系 腹膜 下垂体 松果体 甲状腺 上皮小体 副腎 膵島 第7回 神経系 神経系の構成 中枢神経系（脊髄 延髄と橋 小脳 中脳） 第8回 神経系 間脳 大脳 第9回 神経系 脳の血管 脳室と脳脊髄膜 第10回 神経系 末梢神経（脳神経 脊髄神経） 第11回 神経系 脊髄神経 自律神経系（交感神経 副交感神経） 第12回 神経系 感覚器系 伝導路 視覚器（眼球） 第13回 感覚器系 視覚器（眼球の付属器） 平行聴覚器（外耳 中耳 内耳）皮膚 角質器 第14回 感覚器系 発生学 皮膚の腺 受精から着床 発生の第2週・第3週 第15回 発生学 発生の第4週～第8週 胎生第3月～出生	浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎
科目の目的	医療技術者としての基本となる消化器系（腸・肝・胆・膵）、呼吸器系、泌尿器系、生殖器系、内分泌系、神経系、感覚器系に関する解剖学と発生学の知識を習得する。【知識・理解・思考】	
到達目標	人体の基本的な器官系の位置、構造を説明できる。人体の発生過程を説明でき、各臓器・器官の由来胚葉を知っている。	
関連科目	解剖学Ⅰ	
成績評価方法・基準	試験100%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	Active Academyで事前配布するレジュメを理解しながら通読すると、概ね1時間かかるはずである。	
教科書・参考書	教科書：入門人体解剖学 藤田恒夫 南江堂 参考書：特に無し	
オフィス・アワー	講義終了後の休み時間に教室で質問を受け付ける。個別の相談は事前の連絡によって随時対応する（asami@paz.ac.jp）。	
国家試験出題基準	【診療放射線技師】 ≪専門基礎分野≫-1-7-B-b C-a, b D-a, b, c 5-A-a, b, c, d B-a C-a, b 9-A-a, b, c, d B-a, b 10-A-a, b, c B-a, b, c C-a, b, c 11-A-a, b, c, d 12-A-a B-a, b C-a D-a E-a 13-A-a, b B-a C-a	
履修条件・履修上の注意	Active Academyによるレジュメの配付期間：講義の1週間前から1週間後まで。 ダウンロードしたPCを持参してもよいが、授業中のPC操作は好ましくないため、できるだけプリントアウトしたものを持参してください。	

講義科目名称： 生理学 I

授業コード： 2R042

英文科目名称： Physiology I

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
岩崎 信一			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 ガイダンス 生理学の基礎の基礎 生理学講義を受講するにあたって 細胞・組織・器官 第2・3回 神経の基本的機能 神経細胞の形態、興奮伝導、興奮伝達 第4・5回 筋肉の基本的機能 筋細胞の形態と興奮、骨格筋の収縮 第6-8回 神経系の機能 末梢神経系(体性神経系、自律神経系)、中枢神経系、運動機能の調節 第9-12回 感覚の生理学 様々な感覚の受容と知覚のメカニズム 第13-15回 睡眠・記憶・情動 脳の高次機能	岩崎 信一 岩崎 信一 岩崎 信一 岩崎 信一 岩崎 信一 岩崎 信一
科目の目的	人体の各部分の構造と機能を学び、医療職に必要な基礎知識を身につける(ディプロマポリシー【知識・理解・思考】に相当)	
到達目標	選択肢の中から、正しい人体の機能や、それを生み出すしくみを選ぶことができる	
関連科目	解剖学 I・II、生化学	
成績評価方法・基準	講義題目毎に小テストを行う(解答・解説はAAにて行う) 小テストの平均点×0.5+期末試験の点数×0.5 で最終的な評価を決定する	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業内容および小テストや期末テストの内容は、指定した教科書に準ずる そのため、指定した教科書を中心とした予習・復習が単位認定のカギとなる(約2時間)	
教科書・参考書	教科書：「シンプル生理学 第7版」貴邑富久子、根木英雄(南江堂) 参考書：「標準生理学」(医学書院) 「人体の正常構造と機能」(日本医事新報社) 「トートラ人体の構造と機能」(丸善) 他	
オフィス・アワー	講義日の12:10~12:50(非常勤講師室にて)	
国家試験出題基準	専門基礎 I (2)-1-(1)-①~⑥ 専門基礎 I (2)-2-(2)-②、③ 専門基礎 I (2)-2-(3)-① 専門基礎 I (2)-8-(1)-①、② 専門基礎 I (2)-9-(1)-①、② 専門基礎 I (2)-9-(2)-①~⑤	
履修条件・履修上の注意	15コマ講義なので、5回の欠席で履修放棄となるので注意	

講義科目名称： 生理学Ⅱ

授業コード： 2R043

英文科目名称： Physiology II

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
岩崎 信一			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1・2回 内分泌系の機能 ホルモンの一般的特徴、内分泌器官の機能 第3-5回 循環の生理学 心臓血管系の基本構造と機能、調節 第6・7回 呼吸の生理学 呼吸器系基本構造と機能、調節 第8・9回 尿の生成と排泄および体液とその調節 腎臓の構造と機能、調整、尿生成、蓄尿と排尿、体液の恒常性を維持する仕組み 第10・11回 消化と吸収 消化管の基本構造と機能、調節 第12・13回 血液の生理学 血液の組成とその機能 第14・15回 体温とその調節 体温の意義とその調節メカニズム	岩崎 信一 岩崎 信一 岩崎 信一 岩崎 信一 岩崎 信一 岩崎 信一 岩崎 信一
科目の目的	人体の各部分の構造と機能を学び、医療職に必要な基礎知識を身につける(ディプロマポリシー【知識・理解・思考】に相当)	
到達目標	選択肢の中から、正しい人体の機能や、それを生み出すしくみを選ぶことができる	
関連科目	解剖学Ⅰ・Ⅱ、生化学	
成績評価方法・基準	講義題目毎に小テストを行う(解答・解説はAAにて行う) 小テストの平均点×0.5+期末試験の点数×0.5 で最終的な評価を決定する	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業内容および小テストや期末テストの内容は、指定した教科書に準ずる そのため、指定した教科書を中心とした予習・復習が単位認定のカギとなる(約2時間)	
教科書・参考書	教科書：「シンプル生理学 第7版」貴邑富久子、根木英雄(南江堂) 参考書：「標準生理学」(医学書院) 「人体の正常構造と機能」(日本医事新報社) 「トートラ人体の構造と機能」(丸善) 他	
オフィス・アワー	講義日の12:10~12:50(非常勤講師室にて)	
国家試験出題基準	専門基礎Ⅰ(2)-3-(1)-①~④ 専門基礎Ⅰ(2)-3-(2)-①~⑥ 専門基礎Ⅰ(2)-4-(1)-①~③ 専門基礎Ⅰ(2)-4-(2)-①~③ 専門基礎Ⅰ(2)-4-(3)-①~③ 専門基礎Ⅰ(2)-4-(4)-①、② 専門基礎Ⅰ(2)-5-(1)-①~③ 専門基礎Ⅰ(2)-5-(2)-①~③ 専門基礎Ⅰ(2)-5-(3)-① 専門基礎Ⅰ(2)-6-(1)-①~③ 専門基礎Ⅰ(2)-6-(2)-①~③ 専門基礎Ⅰ(2)-7-(1)-①~④ 専門基礎Ⅰ(2)-7-(2)-①、② 専門基礎Ⅰ(2)-7-(3)-①~⑤ 専門基礎Ⅰ(2)-8-(2)-①~③ 専門基礎Ⅰ(2)-10-(2)-①、②	
履修条件・履修上の注意	15コマ講義なので、5回の欠席で履修放棄となるので注意	

講義科目名称： 病理学

授業コード： 2R044

英文科目名称： General Pathology

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
田村 遵一			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 序論 病理学とは 病因論 内因外因。公害病と医原病。疾病の分類。</p> <p>第2回 先天異常 奇形。奇形の種類。遺伝の関与。遺伝異常による疾患。遺伝性疾患の診断と治療。</p> <p>第3回 代謝異常1 細胞の障害と適応。変性。壊死とアポトーシス。細胞の適応。</p> <p>第4回 代謝異常2 物質沈着による細胞障害。脂質代謝異常と疾患。タンパク質代謝異常と疾患。</p> <p>第5回 代謝異常3 糖代謝異常と疾患。有機質、無機質代謝の異常と疾患。</p> <p>第6回 循環障害1 循環器系 循環血液量の異常。充血うっ血、出血虚血、ショック。</p> <p>第7回 循環障害2 閉塞性の循環障害。血栓症。播種性血管内凝固。塞栓症。側副循環とは。リンパ系の疾患。</p> <p>第8回 炎症と免疫、膠原病1 炎症。炎症の原因、経過、治療。創傷治癒。炎症の各型。</p> <p>第9回 炎症と免疫、膠原病2 免疫とアレルギー。自然免疫系と適応免疫系。免疫担当細胞。抗体と補体。能動免疫と受動免疫。</p> <p>第10回 炎症と免疫、膠原病3 免疫不全。先天性免疫不全。HIV感染症。移植と自己免疫。主要組織適合複合体。膠原病。</p> <p>第11回 腫瘍1 腫瘍の定義と分類。異型度、分化度、悪性度。悪性腫瘍の転移と進行度。</p> <p>第12回 腫瘍2 腫瘍の発生病理。腫瘍の発生原因。がん発生の外因、内因。</p> <p>第13回 腫瘍3 悪性腫瘍の診断、治療、予防。</p> <p>第14回 老化と死 老化とは？ 死とは？</p> <p>第15回 病理検査 病理検査の意義。細胞診、組織診。手術時の迅速診断。病理解剖。病理組織、細胞診の作製過程。</p>	<p>田村 遵一</p> <p>田村 遵一</p> <p>田村 遵一</p> <p>田村 遵一</p> <p>田村 遵一</p> <p>田村 遵一</p> <p>田村 遵一</p> <p>田村 遵一</p> <p>田村 遵一</p> <p>田村 遵一</p> <p>田村 遵一</p> <p>田村 遵一</p> <p>田村 遵一</p> <p>田村 遵一</p> <p>田村 遵一</p> <p>田村 遵一</p> <p>田村 遵一</p> <p>田村 遵一</p> <p>田村 遵一</p>
科目の目的	放射線学には、疾患・病気に対する臨床的知識と理解が必要とされる。実臨床へ関わるには、画像を含む診断に至るすじ道について学ぶことは大切であり、その一助として、疾患の原因・経過および結果を追及し形態機能的変化を明らかにする病理学を総論的に学ぶ。先天異常、代謝異常、循環異常、炎症、腫瘍という病因の五大カテゴリーと、老化と死についても概略を学ぶ。関連科目の知識をもとに、疾患、病気に関わる臨床的基礎を修得する。到達度は試験により判定する。 【知識・理解・思考】	
到達目標	病理学的な分野の基礎事項に関して、放射線学に必要な内容の理解と知識を得る。	
関連科目	生化学 解剖学Ⅰ、Ⅱ 生理学Ⅰ、Ⅱ 病理学 薬理学	
成績評価方法・基準	試験（80％）、出席状況等（20％）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	毎回の講義内容を復習し重要事項を理解する。講義前に配布予定の授業資料を参照し、講義内容を把握しておく。0.5時間	
教科書・参考書	参考書：シンプル病理学 改訂第7版 南江堂 入門人体解剖学 改訂第5版 南江堂	
オフィス・アワー	講義の前後 場所：講義室	
国家試験出題基準	1. 人体の構造と機能および疾病の成り立ち 2. 臨床医学の基礎 病態の基礎 疾病と障害の基礎	

履修条件・履修上の注意	60%以上の理解度達成をもって、履修完了と認定する。
-------------	----------------------------

講義科目名称： 薬理学

授業コード： 2R045

英文科目名称： Pharmacology

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
栗田 昌裕			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 生化学

授業コード： 2R046

英文科目名称： Biochemistry

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
木村 鮎子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 生化学入門～ 生体化学成分の基礎 ～ 生体を構成する主な化学成分について概説する。また細胞の基本構造および、それぞれの細胞小器官の役割ついて生化学的な視点から解説する。</p> <p>第2・3回 生体成分の構造と機能 I～ 糖質と病態 ～ 三大栄養素の一つである糖質について、その分類や代謝経路などを中心に解説する。また、糖代謝と病態との関係を解説する。</p> <p>第4-6回 生体成分の構造と機能 II～ 脂質と病態 ～ 三大栄養素の一つである脂質について、①エネルギー源としての役割、②生体膜構成成分としての役割、③生理活性シグナル因子としての役割を中心に解説する。また、生体内における脂質の代謝異常と病態との関係を解説する。</p> <p>第7・8回 生体成分の構造と機能 III～ タンパク質・アミノ酸と病態 ～ 三大栄養素の一つであるタンパク質について、その分類や代謝経路などを中心に解説する。また、タンパク質を構成するアミノ酸の分類、性質、病態との関連などについて解説する。</p> <p>第9回 生体成分の構造と機能 IV～ 遺伝子と病態 ～ 核酸の構造や性質を解説する。また、DNA の翻訳からタンパク質の生合成までのメカニズムを解説する。さらに、遺伝子の変異に伴い発症する病態について解説する。</p> <p>第10・11回 生体成分の構造と機能 V～ ビタミンの役割と病態 ～ 微量栄養素であるビタミンの分類と機能を解説する。また、脚気、懐血病などビタミン欠乏に伴い発症する病態について解説する。</p> <p>第12・13回 生体成分の構造と機能 VI～ ミネラルの役割と病態 ～ 生体内で必要不可欠なミネラルの種類、欠乏症、過剰症について概説する。</p> <p>第14回 ホメオスタシスとホルモン ホルモンの分類とそれぞれの標的組織について解説する。また、ホルモンの分泌異常による疾患について解説する。</p> <p>第15回 免疫の生化学 生体内の化学成分がどのように免疫システムに関与しているのかを解説する。</p>	<p>木村鮎子</p> <p>木村鮎子</p> <p>木村鮎子</p> <p>木村鮎子</p> <p>木村鮎子</p> <p>木村鮎子</p> <p>木村鮎子</p> <p>木村鮎子</p> <p>木村鮎子</p>
科目の目的	生命現象の基本原則とそれに関連する病態を分子レベルで理解することで、化学的根拠に基づいた視点を有する医療人の育成を目指す。【知識・理解・思考】	
到達目標	生体内の様々な化学物質による生命現象を理解したうえで、それらが各種病態においてどのように関係しているのかを理解する。	
関連科目	医学概論、臨床生化学	
成績評価方法・基準	定期試験（100％）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	有機化学および生物学の基礎知識を必要とする。準備学習に必要な学習時間の目安は概ね1時間程度。	
教科書・参考書	教科書：栄養科学シリーズ NEXT 生化学（講談社） 参考書：菌田 勝 編；栄養科学イラストレイテッド生化学 改定第3版（羊土社）	
オフィス・アワー	講義終了後教室または研究室にて質問を受け付ける 質問は E-mail (ay-kimura@paz.ac.jp) でも随時受け付ける	
国家試験出題基準	≪人体の構造と機能および疾病の成り立ち≫— I-1-A-a, ≪人体の構造と機能および疾病の成り立ち≫— I-2-A-a, ≪人体の構造と機能および疾病の成り立ち≫— I-2-B-b, ≪人体の構造と機能および疾病の成り立ち≫— I-11-A-d	

履修条件・履修上の注意	特になし
-------------	------

講義科目名称： 公衆衛生学

授業コード： 2R047

英文科目名称： Public Health

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
木村 博一			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 公衆衛生学総論・新型コロナウイルス感染症の概要 公衆衛生学・新型コロナウイルス感染症の概要について講義する。	木村博一
	第2回 感染症疫学総論 感染症疫学について概説する。	木村博一
	第3回 感染症各論 結核、エイズならびに新興再興感染症について概説する。	木村博一
	第4回 疫学総論（集団の健康と疾病の概念） 疫学概要、記述疫学、分析疫学ならびにコホート研究について概説する。	木村 朗
	第5回 疫学各論（疫学の方法） 系統誤差・偶発誤差、因果関係論ならびに保健統計について概説する。	木村 朗
	第6回 生活習慣病総論（ライフスタイルと健康） NCDの概要、動脈硬化性疾患、予防ならびに健康教育について概説する。	木村 朗
	第7回 親子保健（発達・成長と健康） 親子保健（発達・成長と健康）の概要と課題について概説する。	木村 朗
	第8回 労働衛生・産業保健の概要 社会・環境と健康の概要と課題について概説する。	木村 朗
	第9回 健康危機管理(1) 食品衛生・食の安全について概説する。	木村博一
	第10回 健康危機管理(2) 感染症発生時や災害時の対応について概説する。	木村博一
	第11回 院内感染対策概説 院内感染の現状と対策について概説する。	木村博一
	第12回 成人保健概説 精神保健や自殺対策について概説する。	木村 朗
	第13回 生活環境・環境と健康・地球温暖化 生活環境・環境と健康・地球温暖化などの諸問題について概説する。	木村 朗
	第14回 保健医療行政概説 地域包括ケアシステムを含む保健医療行政について概説する。	木村 朗
	第15回 がんの統計と疫学 がん対策・がん登録について概説する。	木村 朗
科目の目的	健康及び公衆衛生の基本的概念を学習する。各種疾患対策、環境対策と統計、疫学、健康教育、試験検査が織りなす総合科学であり、活動であることを理解する。【知識・理解・思考】	
到達目標	1. 生活者の健康の保持・増進を目的とする公衆衛生活動を理解する。 2. 公衆衛生活動は、政治、経済、社会の動向と密接に関連していることを理解し、広い視野を養う。 3. 公衆衛生活動の基礎的技法として、集団からアプローチする疫学、保健統計、地域組織活動等を理解する。	
関連科目	生命倫理、環境学、社会学、情報処理、理学療法概論、地域理学療法学	
成績評価方法・基準	定期試験（期末試験）100%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	準備学習に必要な学習時間の目安 1コマあたり2時間	
教科書・参考書	【教科書】 「社会・環境と健康 公衆衛生学 2022年版」柳川 洋、尾島 俊之 編集（医歯薬出版） 【教科書】 身体活動学入門、木村 朗、三共出版」	
オフィス・アワー	講義の前後に質問を受け付ける（木村博一・木村朗） e-mail（木村博一）：h-kimura@paz.ac.jp；a-kimura@paz.ac.jp e-mail（木村朗）：a-kimura@paz.ac.jp	
国家試験出題基準	専門基礎Ⅲ-1-A-f.g，Ⅲ-1-B-a.b.c.d.e.f.g.h.i.j	
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 内科学

授業コード： 2R048

英文科目名称： Internal Medicine

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
岩崎 俊晴			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 概論1 ＜内科疾患の分類、薬物療法、食事療法＞内科疾患の分類、薬物療法の実際。薬物の作用、濃度。処方箋、医薬品に関する法令。薬用量。食事療法の目的。栄養と疾患の関係。各種病態と食事療法の基本方針。病院食とは。嚥下と栄養補給。</p> <p>第2回 概論2 一般検査。血液検査。生化学検査。内分泌検査。感染症検査。免疫的検査。腫瘍マーカーとは。生理学的検査。画像検査。</p> <p>第3回 消化器疾患1 消化器疾患の食事・栄養療法。口腔、食道、胃疾患、腸疾患。</p> <p>第4回 消化器疾患2 肝、胆のう、膵臓疾患。腹膜疾患。急性腹症。</p> <p>第5回 呼吸器疾患1 呼吸器疾患総論、感染性呼吸器疾患。気管支疾患。産業界呼吸器疾患。</p> <p>第6回 呼吸器疾患2 間質性肺炎。COPD。肺腫瘍。肺循環障害。サルコイドーシス。</p> <p>第7回 アレルギー、自己免疫疾患。 アレルギーとは。アレルギー性鼻炎。気管支喘息。アレルギー性肺疾患。膠原病。</p> <p>第8回 循環器疾患1 心不全。不整脈。</p> <p>第9回 循環器疾患2 虚血性心疾患。弁膜症。心筋炎。リウマチ熱。</p> <p>第10回 循環器疾患3 高血圧症。大動脈疾患。末梢動脈疾患。静脈・リンパ系の疾患。</p> <p>第11回 内分泌・代謝疾患1 内分泌疾患の特徴。間脳、下垂体疾患。甲状腺、副甲状腺疾患、副腎疾患。</p> <p>第12回 内分泌・代謝疾患2 糖代謝異常（糖尿病、低血糖）</p> <p>第13回 内分泌・代謝疾患3 脂質代謝異常。尿酸代謝異常。その他の代謝異常。</p> <p>第14回 血液疾患 血液量の異常。脱水。貧血、多血症。血小板の異常。白血球の異常。</p> <p>第15回 内科学における遺伝性疾患。環境因子と内科疾患。 遺伝性疾患の形式。家族性高コレステロール血症について。公害病について。原発事故における健康被害。</p>	<p>岩崎</p> <p>岩崎</p> <p>岩崎</p> <p>岩崎</p> <p>岩崎</p> <p>岩崎</p> <p>岩崎</p> <p>岩崎</p> <p>岩崎</p> <p>岩崎</p> <p>岩崎</p> <p>岩崎</p> <p>岩崎</p> <p>岩崎</p> <p>岩崎</p> <p>岩崎</p> <p>岩崎</p> <p>岩崎</p>
科目の目的	臨床医学の中で内科学はすべての疾患を知る上で重要な学問である。特に、疾患の病理生理、診断、治療を学ぶことは臨床の現場で患者の状況を理解し、的確な判断に基づいて検査、治療を施す上で重要である。【知識・理解・思考】	
到達目標	疾病の病態生理、診断、治療を一連の流れの中で理解する力を養う。国家試験に役立つ疾患について理解を深め、実際の問題に対応できるようにする。	
関連科目	解剖学Ⅰ・Ⅱ、病理学、生理学Ⅰ・Ⅱ	
成績評価方法・基準	授業内での口頭試問または小テスト（50%）及び授業内でのレポート（50%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	毎回の講義内容をよく復習し、重要事項を頭にいれておくこと。講義前に授業資料に目を通し、どのような流れの授業なのかを把握しておくこと。授業内容を深く理解するためには30分以上の予習が必要である。	
教科書・参考書	参考書：「病気が見える」シリーズ 教科書なし	
オフィス・アワー	講義の後20分ほど学内に滞在している。講義した内容に質問があれば出席表を利用する。	
国家試験出題基準	≪専門基礎≫-I-1-1~13 ≪専門基礎≫-I-2-1~4 ≪専門基礎≫-I-3-1~4	

履修条件・履修上の注意	特になし。
-------------	-------

講義科目名称： 看護技術論

授業コード： 2R049

英文科目名称： Nursing Skills

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
萩原 英子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 臨床心理学

授業コード： 2R050

英文科目名称： Clinical Psychology

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
鎌田 依里			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 画像診断学 I

授業コード： 2R051

英文科目名称： Image Diagnostics I

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
加藤 英樹			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 画像診断学Ⅱ

授業コード： 2R052

英文科目名称： Image Diagnostics II

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
加藤 英樹			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 医療基礎生物学

授業コード： 2R053

英文科目名称： Basic Biology in Medicine

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
原 孝光			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回</p> <p>人体を構成する物質 生体を構成する元素：酸素、炭素、水素、窒素 生体を構成する物質：糖質、脂質、タンパク質とアミノ酸、核酸</p>	原孝光
	<p>第2回</p> <p>細胞の構造と機能 ・細胞膜 ・細胞小器官 ・細胞内構造体 ・細胞骨格と細胞の運動</p>	原孝光
	<p>第3回</p> <p>エネルギー代謝 ・異化と同化 ・ATP ・酵素 ・解糖系とクエン酸回路 ・酸化リン酸化 ・脂質の分解</p>	原孝光
	<p>第4回</p> <p>動物の組織 ・上皮組織と結合組織 ・骨格筋の構造 ・筋収縮機構 ・筋肉におけるエネルギー代謝 ・血液の組成</p>	原孝光
	<p>第5回</p> <p>動物の器官 ・消化系：消化と吸収、肝臓と膵臓 ・循環系：心臓、血管系とリンパ系 ・呼吸系：肺とガス交換 ・排出系：腎臓とその働き ・感覚系：目、耳、その他</p>	原孝光
	<p>第6回</p> <p>動物の器官・神経系 ・脳の構造と役割 ・末梢神経系 ・自律神経系 ・ニューロンと情報伝達：ニューロンの構造、活動電位、シナプス</p>	原孝光
	<p>第7回</p> <p>ホルモンと生体調節 ・生体の調節とホルモン ・ホルモンの種類とその作用 ・ホルモンによる恒常性の維持 ・細胞調節因子</p>	原孝光
	<p>第8回</p> <p>免疫 ・自然免疫：外的防御、内的防御、異物認識と応答 ・獲得免疫：体液性免疫と抗体、細胞性免疫 ・医学における免疫</p>	原孝光
科目の目的	<p>人体機能の理解に必要な生物学の基礎知識を修得する。前半は、生体を構成する物質、細胞の構造と機能などの微生物学を学び、後半は、動物の組織と器官、個体の調節、生体防御などマクロ生物学を学ぶ。本講義を通して、細胞生物学から人体生理学への橋渡しを行うとともに、生物学、解剖学、生理学の各科目の学修内容と合わせて、人体の構造と機能を総合的に理解できるようにする。【知識・理解・思考】</p>	
到達目標	<p>1, 生体を構成する物質の種類と特徴について説明できる。 2, 細胞の構造と機能について説明できる。 3, エネルギー代謝の種類と仕組みについて説明できる。 4, 組織の種類と筋肉の収縮について説明できる。 5, 動物の器官の種類と主な役割について説明できる。 6, 神経系の種類とニューロンの働き、情報伝達について説明できる。 7, ホルモンの種類と恒常性の維持の仕組みについて説明できる。 8, 免疫の種類と機能について説明できる。</p>	
関連科目	生物学A・B、解剖学Ⅰ・Ⅱ、生理学Ⅰ・Ⅱ	

成績評価方法・基準	到達目標1～8：定期試験（70％）、レポート・小テスト（30％）
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	事前配布する資料に目を通し、不明点は各自で下調べをしてから授業に臨むこと。講義科目では、各回の講義に対して講義時間の2倍の授業外学修（自己学習）が必要となる。各講義は2時間と見做すため、各回の講義に必要な予習復習時間は4時間となる。本講義は、7.5回分の講義で構成されることから、全体で30時間の授業外学修（自己学習）を行うようにすること。
教科書・参考書	教科：指定しない（必要な資料は別途配布する） 参考書：「医療・看護系のための生物学（改訂版）」田村隆明（裳華房）
オフィス・アワー	授業の前後（場所：非常勤講師室） メール：thara@gchs.ac.jp
国家試験出題基準	《専門基礎》-I-1-1-A~I 《専門基礎》-I-1-2-A~G 《専門基礎》-I-1-3-A~F
履修条件・履修上の注意	

講義科目名称： 医療基礎数学

授業コード： 2R054

英文科目名称： Basic Mathematics in Medicine

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
倉石 政彦			

授業形態	講義：1-8回 演習：1-8回 全ての授業回とも講義と演習の併用	担当者
授業計画	<p>第1回 数と式、方程式 基本的な式の操作と数の体系について確認し、方程式の立て方について学ぶ。 数の体系がどのようにして拡張されてきたのか、ディスカッションを通して確認する。</p> <p>第2回 三角関数 三角関数の性質について学び、基本的な関数操作法、計算法を修得する。</p> <p>第3回 指数関数と対数関数 指数関数と対数関数の性質について学び、基本的な関数操作、計算法を修得する。</p> <p>第4回 テイラー展開とオイラーの公式 関数のテイラー展開とその応用（オイラーの公式）について学ぶ。</p> <p>第5回 微分法 微分とは何かを考え、基本的な関数の導関数の求め方を修得する。</p> <p>第6回 積分法 積分とは何かを考え、積分の計算法について理解する。</p> <p>第7回 微分方程式 微分方程式とは何かを検討し、初等的に解ける微分方程式の解法を修得する。</p> <p>第8回 現象の数式表現 自然現象や社会現象を数式で表現することの意義を理解し、立式方法について検討する。 放射性同位元素の崩壊やエックス線の物質による減弱について、現象について討論しながら方程式を組み立てる。</p>	<p>倉石 政彦</p> <p>倉石 政彦</p> <p>倉石 政彦</p> <p>倉石 政彦</p> <p>倉石 政彦</p> <p>倉石 政彦</p> <p>倉石 政彦</p> <p>倉石 政彦</p>
科目の目的	高等学校の数学履修をもとにして、初等的な関数の活用法と微分積分学の基礎を学ぶ。自然科学、社会科学的な現象を表現し理解するために必要な基礎数学的素養を身につける。意味内容の理解に重点を置くが、最小限必要の計算力や微分方程式の解法の技術も育成する。【知識・理解・思考】	
到達目標	<p>1. 初等関数への理解を深め、様々な現象について複素数で表現することの意味と使い方を理解する。</p> <p>2. 方程式で表現することの意義を理解し、初歩的な微分方程式について立式と解法を理解する。</p>	
関連科目	専門基礎科目群の医療理工学系科目	
成績評価方法・基準	定期試験80% レポート20%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	連続性の高い授業であるため、復習を十分に行うこと。 準備学習（復習）：2時間程度	
教科書・参考書	教科書：指定しない。必要な資料は配布する。 参考書：1「大学新入生のための数学入門 増補版」石村園子 共立出版 2 高校の教科書、参考書	
オフィス・アワー	火曜日 12：00～19：00。他の曜日についてはメール等で確認のこと。	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 医療基礎物理学

授業コード： 2R056

英文科目名称： Basic Physics in Medicine

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
山崎 真			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 放射線の定義と種類 講義の概要について説明し、放射線の定義（電離放射線、非電離放射線）、宇宙線、素粒子について学習する。	山崎真
	第2回 量子論 光子・電子の粒子性と波動性及び量子の考え方について学習し、演習問題により理解を深める。	山崎真
	第3回 特殊相対性理論 特殊相対論の概要について意味を理解できるよう学習し、演習問題により理解を深める。	山崎真
	第4回 原子の構造 ボーアの量子論の概要、原子の殻構造、パウリの排他原理について理解できるよう学習し、演習問題により理解を深める。	山崎真
	第5回 質量欠損、結合エネルギー、原子核の安定性 質量欠損と結合エネルギーの関係を定量的に理解できるよう学習し、演習問題を学習する。	山崎真
	第6回 原子核の壊変、放射能、放射性壊変の法則 放射性壊変（崩壊）の法則と原子番号、質量数の変化との関係を理解できるよう学習し、演習問題により理解を深める。	山崎真
	第7回 α 壊変、 β 壊変、 γ 線放射 α 壊変（崩壊）、 β 壊変、 γ 線放射が起こる機構（メカニズム）について理解できるよう学習し、演習問題により理解を深める。	山崎真
	第8回 放射平衡 放射平衡（過渡平衡、永続平衡）の原理及び核種とその特徴について理解できるよう学習し、演習問題により理解を深める。	山崎真
科目の目的	原子核の構造と崩壊について学ぶ。また、放射能の起源でもある原子核の崩壊について学ぶ。 【知識・理解・思考】	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 原子、原子核の構造について説明できる 2. ローレンツ変換の計算ができる。 3. 質量欠損について説明できる 4. 量子数について説明できる 5. 物質波について説明するとともに、その波長を計算できる 6. トンネル効果の理由を説明できる 7. α線、β線、γ線とX線の違いを説明できる 8. 放射平衡、過渡平衡について説明できる 	
関連科目	放射線物理学Ⅰ・Ⅱ、同演習、放射線治療技術学Ⅰ・Ⅱ、放射線計測学Ⅰ・Ⅱ、同演習	
成績評価方法・基準	定期試験（90%）、講義内レポート（10%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	自己学習：授業で取り上げた事項について理解し、確実な知識とするための復習を行うこと。 学習時間：1時間程度	
教科書・参考書	教科書：「放射線物理学 改訂2版」柴田徳思，中谷儀一郎，山崎真（通商産業研究社）	
オフィス・アワー	随時。	
国家試験出題基準	《専門基礎》-Ⅱ-2-1~3	
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 医療電気・電子工学 I

授業コード： 2R057

英文科目名称： Basic Electrical Engineering and Electronics ~I

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
齋藤 祐樹			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 直流回路とオームの法則 電荷、電位、受動素子、抵抗率などを理解し、オームの法則を使用して直流直列回路を計算できる。	齋藤 祐樹
	第2回 直流回路計算 並列回路と直並列回路計算ができる。	齋藤 祐樹
	第3回 キルヒホッフの法則と電力 連立方程式を用いて回路計算できる。また、電力、電力量の説明ができ計算できる。	齋藤 祐樹
	第4回 電流による磁界 磁界による電磁気現象でビオサバールの法則およびアンペールの周回路の法則を説明でき、各種コイルの磁界を計算できる。	齋藤 祐樹
	第5回 電磁誘導 変圧器の原理であるファラデーの法則を説明でき、誘導起電力等を計算できる。	齋藤 祐樹
	第6回 静電場現象 静電気による電磁気現象で電界を説明でき、静電場の諸量を計算できる。	齋藤 祐樹
	第7回 電荷と静電容量 コンデンサの直列、並列回路計算ができる。	齋藤 祐樹
	第8回 既出事項のまとめ 第1～7回までの範囲で中間試験を行う。	齋藤 祐樹
	第9回 正弦波交流 瞬時値および実効値、最大値、平均値、インピーダンスを説明でき、R回路、L回路、C回路計算ができる。また、直列回路の計算ができる。	齋藤 祐樹
	第10回 交流の直並列回路 アドミタンスを説明でき、直並列回路を計算できる。	齋藤 祐樹
	第11回 共振回路 共振現象について説明でき、直列共振、並列共振時の諸計算ができる。	齋藤 祐樹
	第12回 半導体の性質とダイオード 絶縁体、導体、半導体の性質を説明でき、PN接合ダイオードおよび各種ダイオードについて説明できる。	齋藤 祐樹
	第13回 トランジスタ バイポーラトランジスタ、電界効果トランジスタの特徴を説明できる。	齋藤 祐樹
	第14回 演算増幅器 各種演算増幅器について説明でき、計算できる。	齋藤 祐樹
	第15回 過渡現象 R-L回路およびR-C回路の過渡現象について説明でき、計算できる。	齋藤 祐樹
科目の目的	診療放射線技師が取り扱う機器や装置は電気・電子工学の理論が基礎となっている。診断用X線装置等の諸特性を理解するためにはこれらの知識が必要である。国家試験においても医用工学として電気・電子工学に関する問題が出題されており、この科目を導入として十分な実力を備えるように取り組んでいく。【知識・理解・思考】	
到達目標	1. 直流回路の理論について説明でき、回路計算ができる。 2. 磁界による電磁気現象について説明でき、それらの事象について計算できる。 3. 電界による電磁気現象について説明でき、それらの事象について計算できる。 4. 交流回路の理論について説明でき、回路計算ができる。 5. 半導体の性質および各種ダイオード、トランジスタについて説明できる。 6. 演算増幅器について説明でき、回路計算ができる。 7. 過渡現象について説明できる。	
関連科目	医療放射線機器工学 I、医療放射線機器工学 II	
成績評価方法・基準	定期試験 (50%)、中間試験 (50%)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習、復習を行う。特に復習は最低1時間以上行うこと。	
教科書・参考書	教科書：医用工学「診療放射線技師スリム・ベーシック (メジカルビュー社) 編集福土政広	

	参考書：基本からわかる電気回路講義ノート（オーム社）西方正司 参考書：First Stage 電子回路概論（実教出版株式会社）高木茂孝 鈴木憲次ほか
オフィス・アワー	金曜 12時～ h-saitou@paz.ac.jp
国家試験出題基準	<<専門基礎>>-Ⅲ-1-A-a～d <<専門基礎>>-Ⅲ-1-B-a～e <<専門基礎>>-Ⅲ-1-C-a～c <<専門基礎>>-Ⅲ-1-D-a～c <<専門基礎>>-Ⅲ-2-A-a～c <<専門基礎>>-Ⅲ-2-B-a～f
履修条件・履修上の注意	医療電気・電子工学Ⅱおよび医療電気・電子工学演習の導入になるため理解する。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
齋藤 祐樹			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 直流回路 医療電気・電子工学Ⅰの復習および鳳・テブナンの定理を用いて回路計算ができる。	齋藤 祐樹
	第2回 交流回路 医療電気・電子工学Ⅰおよび2端子対回路におけるF行列を用いて計算できる。	齋藤 祐樹
	第3回 2極真空管 構造と特性を理解し特性計算ができる。	齋藤 祐樹
	第4回 半導体物性 原子・結晶からバンド構造を理解し半導体の性質を理解する。	齋藤 祐樹
	第5回 バイポーラトランジスタの接地 エミッタ接地、ベース接地、コレクタ接地およびバイアス回路を理解できる。	齋藤 祐樹
	第6回 バイポーラトランジスタの小信号増幅回路 増幅回路の等価回路を構成し増幅度を計算できる。また負帰還増幅回路を理解できる。	齋藤 祐樹
	第7回 電界効果トランジスタの小信号増幅回路 増幅回路の等価回路を構成し増幅度を計算できる。	齋藤 祐樹
	第8回 既出事項のまとめ 第1～7回までの範囲で中間試験を行う。	齋藤 祐樹
	第9回 電源回路 半波整流回路、全波整流回路、ブリッジ形全波整流回路およびコンデンサを用いた平滑回路を理解し、また、DC-DCコンバータについて理解できる。	齋藤 祐樹
	第10回 波形形成回路 抵抗とダイオードを用いたクリップ、リミッタ、スライサ回路を理解する。	齋藤 祐樹
	第11回 フィルタ回路 RC回路を用いてローパス、ハイパス、バンドパスフィルタについて計算できる。	齋藤 祐樹
	第12回 パルス回路 非安定、単安定、双安定マルチバイブレータについて理解する。	齋藤 祐樹
	第13回 アナログ・デジタル論理演算素子 アナログのNOT、OR、ANDゲートからデジタルのSRフリップフロップの動作を理解する。	齋藤 祐樹
	第14回 A/D、D/A変換 アナログ信号の標本化と量子化を行いデジタル信号への符号化また復元できるように理解する。	齋藤 祐樹
	第15回 生体の電撃反応 電流による電撃反応を細胞レベルから考え、マクロ、マイクロショックを理解できる。	齋藤 祐樹
科目の目的	臨床で使用されている各種デバイスの動作を理解するための科目である。前半は医療電気・電子工学Ⅰで取り上げた内容を掘り下げて習得していく。後半は電子工学の新たな分野に取り組んでいく。これまで電圧の大きさなどを考えてきたが、信号という概念に代わっていくので興味を持って理解してほしい。【知識・理解・思考】	
到達目標	1. 複雑な直交流回路を計算できる。 2. アナログ増幅回路を理解できる。 3. 波形形成回路を理解できる。 4. デジタル処理・復元を理解できる。 5. 生体の電撃反応について理解できる。	
関連科目	医療放射線機器工学Ⅰ、医療放射線機器工学Ⅱ	
成績評価方法・基準	定期試験（50%）、中間試験（50%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習・復習は最低1時間は行うこと。	
教科書・参考書	教科書：使用しない	

	参考書：First Stage 電子回路概論（実教出版株式会社）高木茂孝 鈴木憲次ほか 参考書：電気電子材料（オーム社）大木義路ほか
オフィス・アワー	金曜日 12時～ h-saitou@paz.ac.jp
国家試験出題基準	<<専門基礎>>-Ⅲ-1-C-c <<専門基礎>>-Ⅲ-1-D-a～c <<専門基礎>>-Ⅲ-2-C-a, b <<専門基礎>>-Ⅲ-2-D-a～c
履修条件・履修上の注意	医療電気・電子工学Iの知識が必要である。

講義科目名称： 医療電気電子工学演習

授業コード： 2R059

英文科目名称： Practice in Basic Electrical Engineering and Elec... 対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
山崎 真			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 医療電気電子工学実験

授業コード： 2R060

英文科目名称： Experiment in Basic Electrial Engineering and El... 対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
齋藤 祐樹			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 医療統計学

授業コード： 2R061

英文科目名称： Medical Statistics

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
倉石 政彦			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：放射線救急医学

授業コード：2R063

英文科目名称：Emergency Medical Radiology

対象カリキュラム：2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
加藤 英樹			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：放射線文献講読 I

授業コード：2R064

英文科目名称：Literature Reading on Radiology I

対象カリキュラム：2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
酒井 健一			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：放射線文献講読Ⅱ

授業コード：2R065

英文科目名称：Literature Reading on Radiology II

対象カリキュラム：2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
加藤 英樹			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：放射線物理学 I

授業コード：2R066

英文科目名称：Radiation Physics I

対象カリキュラム：2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
山崎 真			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：放射線物理学Ⅱ

授業コード：2R067

英文科目名称：Radiation Physics II

対象カリキュラム：2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
山崎 真			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：放射線物理学演習

授業コード：2R068

英文科目名称：Practice in Radiation Physics

対象カリキュラム：2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
山崎 真			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 放射化学

授業コード： 2R069

英文科目名称： Radiochemistry

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
酒井 健一			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 放射化学演習

授業コード： 2R070

英文科目名称： Practice in Radiochemistry

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
酒井 健一			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：放射線生物学

授業コード：2R071

英文科目名称：Radiation Biology

対象カリキュラム：2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
西澤 徹			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 放射線生物学序論 放射線と生物の関係	西澤 徹
	第2回 放射線の生物作用① 物理学的過程	西澤 徹
	第3回 放射線の生物作用② 化学的過程, 生化学的過程	西澤 徹
	第4回 放射線の生物作用③ 生物学的過程能①DNA損傷	西澤 徹
	第5回 放射線の生物作用④ 生物学的過程能①細胞の死	西澤 徹
	第6回 細胞の放射線感受性 ベルゴニー・トリボンドーの法則, 突然変異	西澤 徹
	第7回 まとめ① 細胞レベルまでの放射線の作用について, ディスカッションを通して知識を整理する	西澤 徹
	第8回 人体への影響① 全身被ばくによる急性放射線死, 組織・臓器への影響	西澤 徹
	第9回 人体への影響② 発がん, 遺伝的影響	西澤 徹
	第10回 人体への影響③ 確率的影響, 確定的影響, 胎児・小児被ばく, 線量限度	西澤 徹
	第11回 まとめ② 人体への放射線の影響について, ディスカッションを通して知識を整理する	西澤 徹
	第12回 生物学的効果と放射線治療① 生物学的効果の修飾①	西澤 徹
	第13回 生物学的効果と放射線治療② 回復	西澤 徹
	第14回 生物学的効果と放射線治療③ 分割照射, 4R, LET, RBE,	西澤 徹
	第15回 生物学的効果と放射線治療④ 放射線照射効果の修飾因子, 温熱療法	西澤 徹
科目の目的	近年、放射線治療の先端化と多様化に伴い、分子生物・免疫学、医学物理学及び医療工学が複雑に相互関連してきた。本科目では放射線医科学者及び放射線技術科学者として癌治療に貢献する能力を身に付け、さらに放射線治療に関連する様々な臨床及び基礎研究を遂行する能力を身に付けることを目的とする。具体的には、放射線生物学一般、放射線腫瘍学一般、放射線免疫学に関する内容を理解する。 【知識・理解・思考】	
到達目標	1. 放射線の生物への作用機序について説明できる。 2. 放射線の細胞に対する作用について説明できる。 3. 主要な組織・臓器に対する放射線の影響について説明できる。 4. 放射線の個体への影響について説明できる。 5. 妊婦の放射線被ばくと胎児への影響について説明できる。 6. 放射線の内部被ばくについて説明できる。 7. 放射線による発癌と遺伝的影響について説明できる。 8. 放射線の生物学的効果の修飾因子について説明できる。 9. 分割照射の意義とその放射線生物学的背景について説明できる。 10. 放射線のLETと生物学的効果について説明することができる。 11. 温熱療法について説明することができる。 12. 放射線に関する有資格者として放射線被ばくの影響を評価できる。	
関連科目	生物学A・B、解剖学Ⅰ・Ⅱ、生理学、医療基礎生物学、放射線物理学Ⅰ・Ⅱ、放射化学、放射線生物学演習、放射線治療技術学Ⅰ・Ⅱ、放射線腫瘍学、放射線安全管理学、診療放射線技師の義務と役割	
成績評価方法・基準	授業時間内に行う確認テスト（15%）、課題（15%）、定期試験（70%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	準備学習の内容：教科書の該当部分を精読し、疑問点を抽出しておくこと。 準備学習の時間：1時間程度	

教科書・参考書	教科書：なし
オフィス・アワー	*
国家試験出題基準	《専門基礎》-II-1
履修条件・履修上の注意	放射線の生物への有害性が診療放射線技師資格の存在根拠である。放射線を正しく怖がるための基礎であり、放射線治療の基盤でもある本科目の内容を理解し、使える知識として修得してほしい。

講義科目名称：放射線生物学演習

授業コード：2R072

英文科目名称：Practice in Radiation Biology

対象カリキュラム：2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
倉石 政彦			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：放射線計測学 I

授業コード：2R073

英文科目名称：Radiation Measurement I

対象カリキュラム：2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
倉石 政彦			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：放射線計測学Ⅱ

授業コード：2R074

英文科目名称：Radiation Measurement II

対象カリキュラム：2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
倉石 政彦			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：放射線計測学演習

授業コード：2R075

英文科目名称：Practice in Radiation Measurement

対象カリキュラム：2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
倉石 政彦			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：放射線計測学実験

授業コード：2R076

英文科目名称：Experiment in Radiation Measurement

対象カリキュラム：2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
倉石 政彦			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 診療画像検査学概論

授業コード： 2R078

英文科目名称： Introduction to Radiological Image Examination

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
加藤 英樹	小池正行	谷口杏奈	徳重佑美子

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 本科目で学ぶ範囲の俯瞰と特徴	加藤英樹
	第2回 放射線検査の変遷と歴史	加藤英樹
	第3回 放射線画像の取得から診断までの全体フロー データ取得, 参照, 保存, 再利用の全体像	加藤英樹
	第4回 X線の基本特性と画像形成理論	小池正行
	第5回 X線画像の成り立ち 1 アナログシステム (一般撮影領域)	小池正行
	第6回 X線画像の成り立ち 2 デジタルシステム (一般撮影領域)	加藤英樹
	第7回 検査における基準面、基準点、指標	徳重佑美子
	第8回 一般撮影検査 高頻度に行われる部位・撮影方法	徳重佑美子
	第9回 CT 検査	徳重佑美子
	第10回 血管造影・IVR及び造影検査	小池正行
	第11回 MRI検査	谷口杏奈
	第12回 超音波検査	谷口杏奈
	第13回 眼底カメラ検査, 他の検査	谷口杏奈
	第14回 診療放射線技師とチーム医療	谷口杏奈
	第15回 科目全体の振り返りと総括	加藤英樹
科目の目的	療放射線技師の業務は画像診断のための診療画像検査と放射線治療の2領域に大別される。本科目では診断領域の診療画像検査の概要と意義を学ぶ。X線発見から現代の医療への臨床応用について、放射線物理学を背景にした画像形成理論、画像取得から診断までの流れ、デジタル画像の概念等について、多種多様なモダリティ (検査装置) を網羅して学ぶ。【知識・理解・思考】	
到達目標	1 診療放射線技師の業務範囲と期待される役割を理解する。 2 医用放射線画像がどのように形成されるのか概要を理解する。 3 多種多様な放射線検査について特徴と意義の概要を理解する。	
関連科目	診療画像解析学Ⅰ～Ⅲ、医療放射線機器学Ⅰ～Ⅲ、診療画像解剖学Ⅰ～Ⅱ	
成績評価方法・基準	定期試験 (60%)、レポート (40%)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	教科書・講義資料をもとに授業該当箇所の予習と復習を行うこと。 学習時間の目安：予習60分、復習60分	
教科書・参考書	教科書：「図解診療放射線技術実践ガイド 第4版」遠藤啓吾 (文光堂)	
オフィス・アワー	各先生とも随時 (前もってメールがあると良い)	
国家試験出題基準	3.1.2～6、3.2.5、3.4.1、	
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 診療放射線学直前実習

授業コード： 2R080

英文科目名称： Preliminary Practice in Medical Radiology

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
倉石 政彦			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 診療放射線学総合臨床実習

授業コード： 2R081

英文科目名称： General Clinical Practice in Medical Radiology

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
星野 修平			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 診療画像解析学 I

授業コード： 2R082

英文科目名称： Medical Image Analysis I

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
加藤 英樹	小池正行	谷口杏奈	徳重佑美子

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 本科目で学ぶ範囲の俯瞰と特徴 DR画像の基礎、撮影基準面（線）を含む	加藤英樹
	第2回 上肢の撮影法と適正画像の条件 1	小池正行
	第3回 上肢の撮影法と適正画像の条件 2	小池正行
	第4回 下肢の撮影法と適正画像の条件 1	小池正行
	第5回 下肢の撮影法と適正画像の条件 2	小池正行
	第6回 脊椎の撮影法と適正画像の条件 1 頸椎、胸椎、腰椎、仙椎	徳重佑美子
	第7回 脊椎の撮影法と適正画像の条件 2 頸椎、胸椎、腰椎、仙椎	徳重佑美子
	第8回 骨盤・股関節の撮影法と適正画像の条件	徳重佑美子
	第9回 頭部・頸部の撮影法と適正画像の条件 1 頭蓋骨、側頭骨、副鼻腔、顔面	谷口杏奈
	第10回 頭部・頸部の撮影法と適正画像の条件 2 頸部、歯科、他	谷口杏奈
	第11回 胸郭の撮影法と適正画像の条件 胸骨、肋骨、鎖骨、胸鎖関節	加藤英樹
	第12回 胸部単純撮影法と適正画像の条件	加藤英樹
	第13回 腹部単純撮影法と適正画像の条件、小児領域の撮影法の特徴	加藤英樹
	第14回 マンモグラフィの撮影法と適正画像の条件	谷口杏奈
	第15回 科目全体の振り返りと総括	加藤英樹
科目の目的	本科目では、一般撮影領域の検査方法について、頭部、胸部、腹部、脊椎、四肢など全身に渡る範囲の撮影法を学ぶ。 初めにX線画像の成り立ちと撮影基準点などの検査技術の基本を学び、更に撮影条件や撮影体位（ポジショニング）、また入射方向と入射点の関係を理解する。各部位ごとに、得られるX線画像の最適な条件、画像がもつ臨床情報についても理解する。【知識・理解・思考】	
到達目標	1 各部位によって異なる画像の特徴が理解できること。 2 各部位によって異なる撮影方法・手技が理解できること。 3 適切な画像を取得するための患者への配慮やケアの必要性が理解できること。	
関連科目	診療画像解析学Ⅱ・Ⅲ、診療画像解析学演習、診療画像解析学実習Ⅰ～Ⅲ、診療画像解析学特論、診療画像解析学臨床実習Ⅰ～Ⅲ、医療放射線機器学Ⅰ～Ⅲ、診療画像解剖学Ⅰ～Ⅱ	
成績評価方法・基準	定期試験（100％）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	教科書・講義資料をもとに授業該当箇所の予習と復習を行うこと。 学習時間の目安：予習60分、復習60分	
教科書・参考書	教科書：「放射線技術学シリーズ・X線撮影技術学 改定3版」（オーム社）	
オフィス・アワー	各先生とも随時（前もってメールがあると良い）	
国家試験出題基準	3. 1. 1, 3. 1. 3. A～D	
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 診療画像解析学Ⅱ

授業コード： 2R083

英文科目名称： Medical Image Analysis II

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
加藤 英樹			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 診療画像解析学Ⅲ

授業コード： 2R084

英文科目名称： Medical Image Analysis III

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
谷口 杏奈			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 診療画像解析学演習

授業コード： 2R085

英文科目名称： Exercise in Madical Image Analysis

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
加藤 英樹			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 診療画像解析学実習 I

授業コード： 2R086

英文科目名称： Practice in Madical Image Analysis I

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
谷口 杏奈			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 診療画像解析学実習Ⅱ

授業コード： 2R087

英文科目名称： Practice in Medical Image Analysis II

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
丸山 星			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 診療画像解析学実習Ⅲ

授業コード： 2R088

英文科目名称： Practice in Medical Image Analysis III

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
今尾 仁			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 診療画像解析学特論

授業コード： 2R089

英文科目名称： Advanced Medical Image Analysis

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
加藤 英樹			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 医療放射線機器学 I

授業コード： 2R090

英文科目名称： Medical Radiation Equipments I

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
齋藤 祐樹			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 医療放射線機器学 I 概要 この講座のガイダンスを行う。	齋藤祐樹
	第2回 総論：X線の発見、X線の発生と減弱、画像の形成 X線画像形成に必要な物理現象を理解する。	齋藤祐樹
	第3回 X線管装置1 X線管の構造と諸特性 2極真空管の構造に起因するV-I特性、ヒール効果などを理解する。	齋藤祐樹
	第4回 X線管装置2 許容負荷と熱容量、付属機器 短・長時間許容負荷、放射線防護の観点から総ろ過を理解する。	齋藤祐樹
	第5回 X線高電圧装置1 2ピーク形X線装置の構成と高電圧発生装置 単相全波整流である2ピーク形X線装置の動作原理を理解する。	齋藤祐樹
	第6回 X線高電圧装置1 2ピーク形X線装置の制御装置 空間電荷補償回路および時限装置の動作原理を理解する。	齋藤祐樹
	第7回 既出事項のまとめ 第1～6回までの範囲で小テストを行う。	齋藤祐樹
	第8回 X線高電圧装置2 三相電源の特徴と三相6ピーク装置 三相電源におけるスター結線、デルタ結線を学び、6ピーク形のリップル百分率を計算できる。	齋藤祐樹
	第9回 X線高電圧装置2 三相2重6ピークおよび三相12ピーク装置 各装置の特徴を理解し、リップル百分率が計算できる。また、テトロート管を用いた定電圧装置を学ぶ。	齋藤祐樹
	第10回 X線高電圧装置3 インバータ式X線装置（非共振形・共振形） 非共振形のDutty比および共振形の共振現象によりインバータ式X線装置の動作原理を理解する。	齋藤祐樹
	第11回 X線高電圧装置3 インバータ式X線装置の特徴 インバータ式X線装置の制御方式（PWM、周波数）および、高電圧変圧器の損失を理解する。	齋藤祐樹
	第12回 X線高電圧装置4 コンデンサ式X線装置 移動形X線装置であるコンデンサ式の動作原理・特徴を理解する。	齋藤祐樹
	第13回 X線高電圧装置4 自己整流形装置 携帯形X線装置である自己整流形X線装置の特徴を理解する。	齋藤祐樹
	第14回 自動露出制御装置 自動露出機構（Auto Exposure Control）の構造と特性を理解する。	齋藤祐樹
	第15回 散乱線除去用グリッド 散乱線の発生機序およびグリッドの構造と特性を理解する。	齋藤祐樹
科目の目的	X線撮影で用いられる診療画像機器について、基礎的知識を習得する事を目的とする。専門科目に配置され、国家試験の出題が多いため理解すること。【知識・理解・思考】	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・X線画像形成過程を習得する。 ・X線源装置の構造、特性を習得する。 ・X線高電圧発生装置の構造、特性を習得する。 ・自動露出装置の構造、特性を習得する。 ・散乱線除去用グリッドの構造、特性を習得する。 	
関連科目	診療画像解析学 I、診療画像解剖学 I、医療放射線機器学 II、医療電気・電子工学 I	
成績評価方法・基準	期末試験50 %、小テスト50 %	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義前の予習60分、講義後の復習60分	
教科書・参考書	教科書：「改訂新版 放射線機器学（I）」小倉泉，根岸徹，沼野智一（コロナ社） 参考書：「新・医用放射線科学講座 診療画像機器学（第2版）」岡部哲夫，小倉敏裕，石田隆行（医歯薬出版）	
オフィス・アワー	金 12:00～ h-saitou@paz.ac.jp	

国家試験出題基準	《専門》- I -2-A~K
履修条件・履修上の注意	

講義科目名称： 医療放射線機器学Ⅱ

授業コード： 2R091

英文科目名称： Medical Radiation Equipments II

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
齋藤 祐樹			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 医療放射線機器学Ⅲ

授業コード： 2R092

英文科目名称： Medical Radiation Equipments III

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
齋藤 祐樹			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 診療画像解剖学 I

授業コード： 2R093

英文科目名称： Medical Imaging Anatomy I

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
加藤 英樹	小池正行	谷口杏奈	徳重佑美子

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 本科目で学ぶ範囲の俯瞰と特徴 画像検査と画像解剖学、放射線画像の成り立ち	加藤英樹
	第2回 四肢の単純X線画像	加藤英樹
	第3回 脊椎の単純X線画像	加藤英樹
	第4回 頭蓋骨の単純X線画像	小池正行
	第5回 胸部の単純X線画像	加藤英樹
	第6回 腹部の単純X線画像	加藤英樹
	第7回 骨盤部の単純X線画像	加藤英樹
	第8回 マンモグラフィ	谷口杏奈
	第9回 消化管の造影画像	小池正行
	第10回 胆道系・泌尿器系の造影画像	小池正行
	第11回 画像腹部の血管造影画像	小池正行
	第12回 頭頸部の血管造影画像	小池正行
	第13回 心血管の血管造影画像	小池正行
	第14回 生殖器系の造影画像	徳重佑美子
	第15回 科目全体の振り返りと総括	加藤英樹
科目の目的	診療放射線技師が行う画像検査は、人体内部の状態を解剖学的構造として描画するもの、生理機能を可視化する機能画像などがある。また、画像再構成によって再構築された三次元画像や時間軸に沿って収集されたデータから構成される動画像など様々である。本科目では、単純X線撮影や造影X線撮影などの画像検査において描出された診療画像において、人体の内部構造がどのように描出されるのか画像診断学の立場から、画像解剖学で学んだ基礎的知識と対比させ、読影の補助として理解する。【知識・理解・思考】	
到達目標	1 診断や治療に必要な画像解剖と疾病の知識を学ぶ。 2 放射線画像に描出される人体の内部構造について、X線の基本的な物理特性と対比して理解する。 3 放射線画像に描出される人体の内部構造がどのように描出されるのかを、解剖学で学んだ基礎的知識と関連づけて理解する。	
関連科目	診療画像解剖学Ⅱ、診療画像解析学Ⅰ～Ⅲ、診療画像解析学演習、診療画像解析学実習Ⅰ～Ⅲ、診療画像解析学臨床実習Ⅰ～Ⅲ	
成績評価方法・基準	定期試験(60%)、ミニテスト(20%)、レポート(10%)、授業内ハンズオンレポート(10%)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	教科書・講義資料をもとに授業該当箇所の予習と復習を行うこと。 学習時間の目安：予習60分、復習60分	
教科書・参考書	教科書：「若葉マークの画像解剖学 改訂第3版」磯辺智範（メディカルビュー社） 教科書：「グレイ解剖学 2版」塩田浩平（エルゼビア・ジャパン） 参考書：「ポケット正常画像A to Z」後閑武彦	
オフィス・アワー	加藤：①在室していれば随時 ②質問・リクエストはいつでもメールで対応します。 小池：①在室していれば随時 ②質問・リクエストはいつでもメールで対応します。 谷口：①在室していれば随時 ②質問・リクエストはいつでもメールで対応します。 徳重：①在室していれば随時 ②質問・リクエストはいつでもメールで対応します。	
国家試験出題基準	《専門》- I -5-A~C	

履修条件・履修上の注意	
-------------	--

講義科目名称： 診療画像解剖学Ⅱ

授業コード： 2R094

英文科目名称： Medical Imaging Anatomy II

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
加藤 英樹			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 診療画像解析学臨床実習 I

授業コード： 2R095

英文科目名称： Clinical Practice in Medical Image Analysis I

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
加藤 英樹			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 診療画像解析学臨床実習Ⅱ

授業コード： 2R096

英文科目名称： Clinical Practice in Medical Image Analysis II

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
谷口 杏奈			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 核医学検査技術学 I

授業コード： 2R097

英文科目名称： Nuclear Medicine Technology I

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
渡邊 浩			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 核医学検査技術学Ⅱ

授業コード： 2R098

英文科目名称： Nuclear Medicine Technology II

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
渡邊 浩			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 核医学機器工学

授業コード： 2R099

英文科目名称： Nuclear Medicine Equipment Engineering

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
渡邊 浩			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 核医学検査技術学演習

授業コード： 2R101

英文科目名称： Exercise in Nuclear Medicine Technology

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
渡邊 浩			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 核医学検査技術学実習

授業コード： 2R102

英文科目名称： Practice in Nuclear Medicine Technology

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
渡邊 浩			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 核医学検査技術学臨床実習

授業コード： 2R103

英文科目名称： Clinical Practice in Nuclear Medicine Technology

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
渡邊 浩			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：放射線治療技術学 I

授業コード：2R104

英文科目名称：Radiation Therapy Technologies I

対象カリキュラム：2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
岩井 譜憲			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：放射線治療技術学Ⅱ

授業コード：2R105

英文科目名称：Radiation Therapy Technologies II

対象カリキュラム：2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
岩井 譜憲			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：放射線治療機器工学

授業コード：2R106

英文科目名称：Radiation Therapy Equipment Engineering

対象カリキュラム：2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
岩井 譜憲			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：放射線腫瘍学

授業コード：2R108

英文科目名称：Radiation Oncology

対象カリキュラム：2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
黒崎 弘正			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：放射線治療技術学演習

授業コード：2R109

英文科目名称：Exercise in Radiation Therapy Technology

対象カリキュラム：2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
岩井 譜憲			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：放射線治療技術学実習

授業コード：2R110

英文科目名称：Practice in Radiation Therapy Technology

対象カリキュラム：2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
岩井 譜憲			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：放射線治療技術学臨床実習

授業コード：2R111

英文科目名称：Clinical Practice in Radiation Therapy Technology

対象カリキュラム：2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
岩井 譜憲			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 医療画像情報学 I

授業コード： 2R112

英文科目名称： Medical Imaging Information I

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
丸山 星			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 医療画像情報学Ⅱ

授業コード： 2R113

英文科目名称： Medical Imaging Information II

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
丸山 星			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：放射線情報システム学

授業コード：2R115

英文科目名称：Radiation Information System

対象カリキュラム：2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
星野 修平			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：放射線安全管理学

授業コード：2R117

英文科目名称：Radiation Safety Management

対象カリキュラム：2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
島崎 綾子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 診療放射線技師の義務と役割

授業コード： 2R118

英文科目名称： Duty and Role of Radiological Technologist

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
星野 修平			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：放射線関係法規

授業コード：2R119

英文科目名称：Laws and Regulations of Radiation

対象カリキュラム：2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
星野 修平			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 医療安全管理学

授業コード： 2R121

英文科目名称： Medical Safety Management

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
島崎 綾子			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称：放射線科学特別講義

授業コード：2R122

英文科目名称：Radiation Science Special Lecture

対象カリキュラム：2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
倉石 政彦			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 診療放射線学総合演習

授業コード： 2R123

英文科目名称： General Exercise of Radiological Sciences

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	4学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
星野 修平			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 診療放射線技術と研究

授業コード： 2R124

英文科目名称： Radiological Technology and Research

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
星野 修平			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 診療放射線学研究 I

授業コード： 2R125

英文科目名称： Radiological Technology Research I

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
星野 修平			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

講義科目名称： 診療放射線学研究Ⅱ

授業コード： 2R126

英文科目名称： Radiological Technology Research II

対象カリキュラム： 2022年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	4学年	4単位	必修
担当教員	担当者		
星野 修平			

授業形態		担当者
授業計画	※今年度開講せず（2022年度カリキュラム）	
科目の目的		
到達目標		
関連科目		
成績評価方法・基準		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安		
教科書・参考書		
オフィス・アワー		
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		